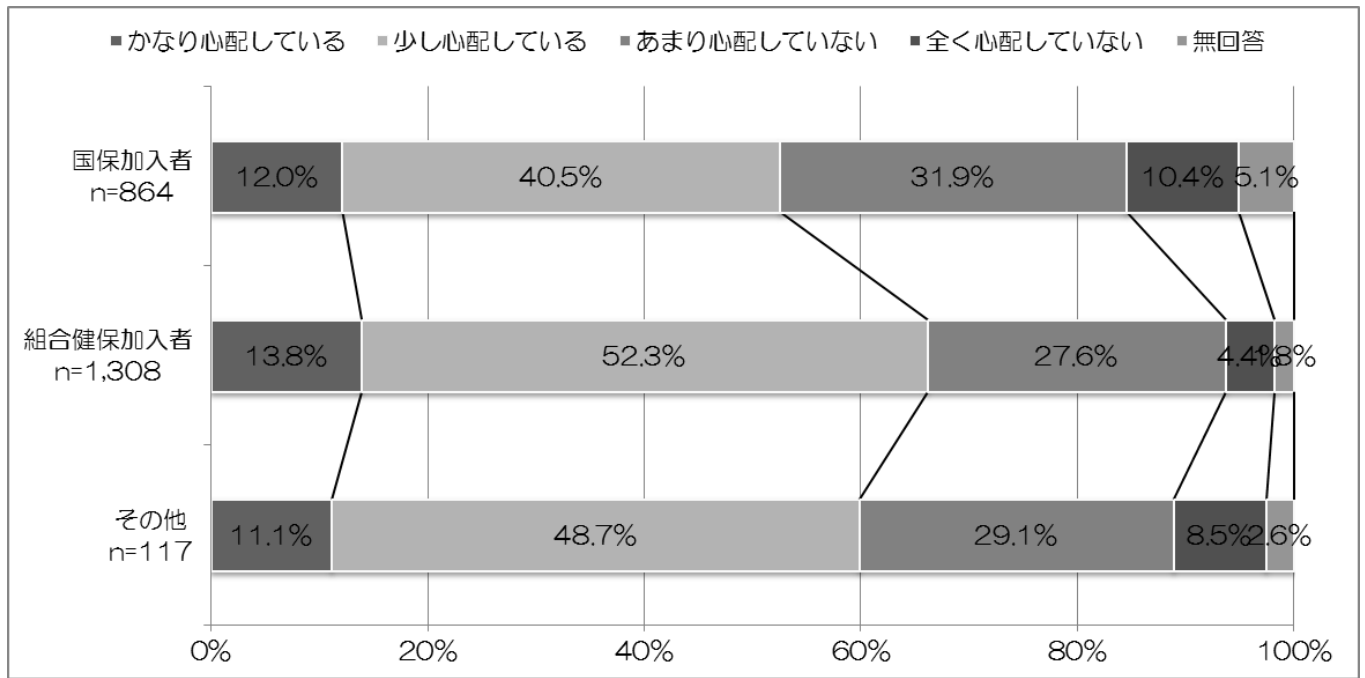
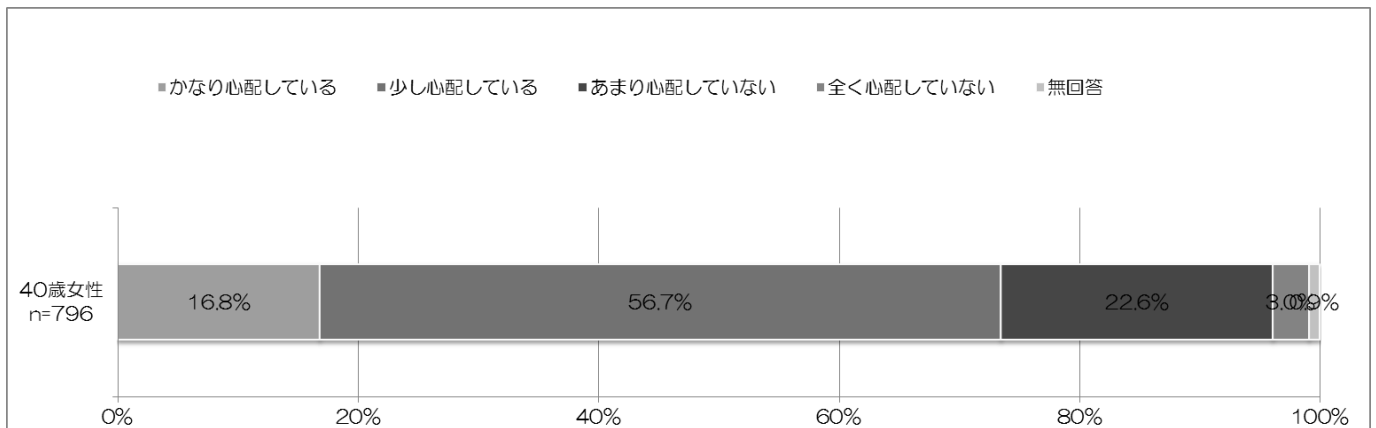


保険種別に見ると、すべての場合において「少し心配している」と答えた回答者の割合が最も高かった。



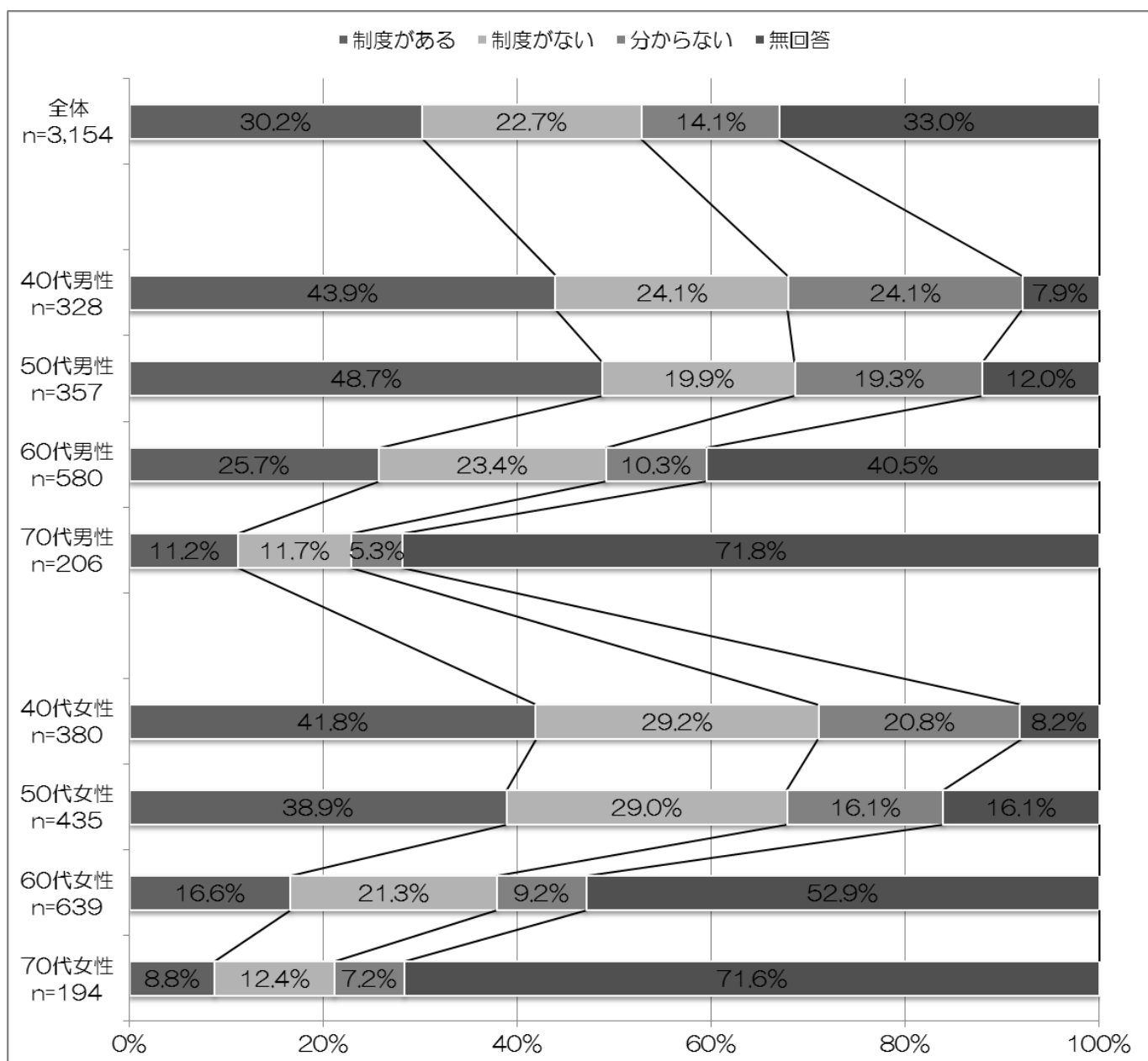
◆40歳の傾向



問7. ご自身、もしくは配偶者の勤め先や勤め先の健康保険には、社員または社員の家族にがん検診(人間ドックに含まれるがん検診を含む)を受けられる制度がありますか？それぞれのがんについて最も当てはまる選択肢の○を1つだけ塗りつぶしてください。

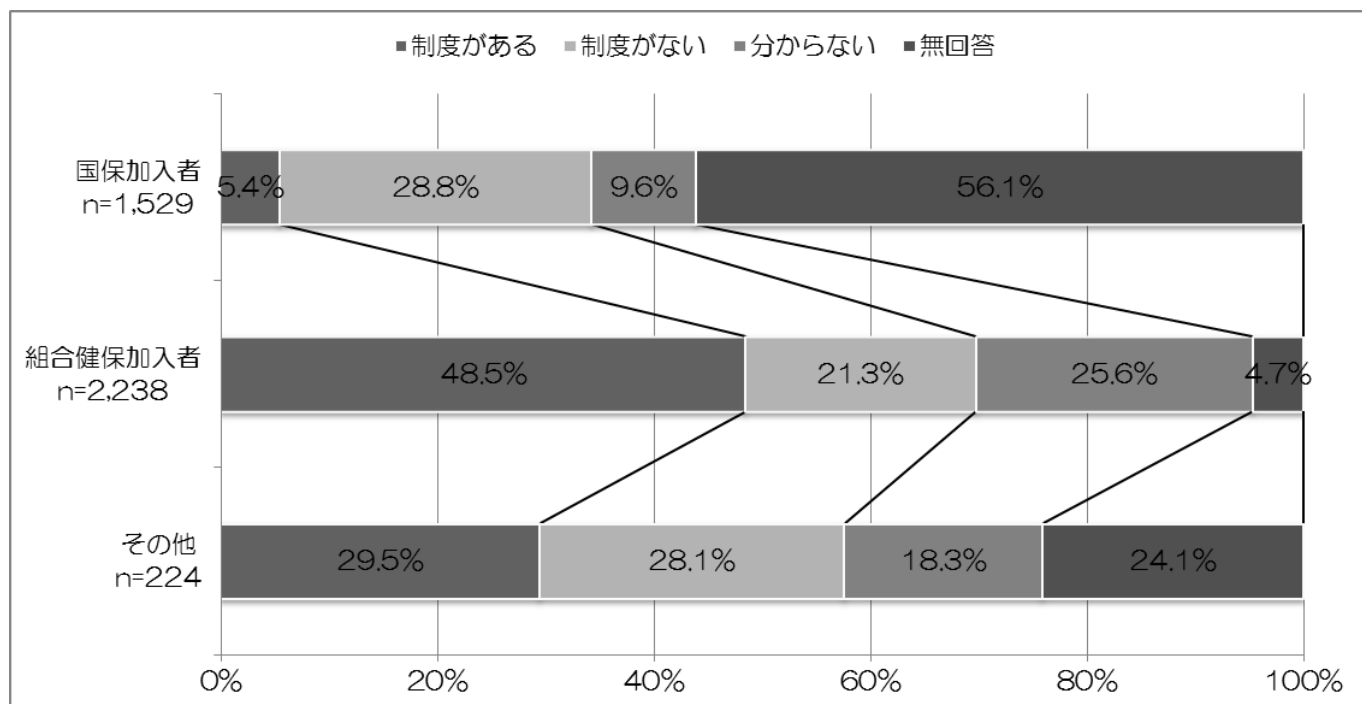
◆胃がん検診

胃がん検診職域受診制度の有無に関しては、全体では「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高く、30.2%であった³。年代別・性別にみると、男性では40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。また、女性でも40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。

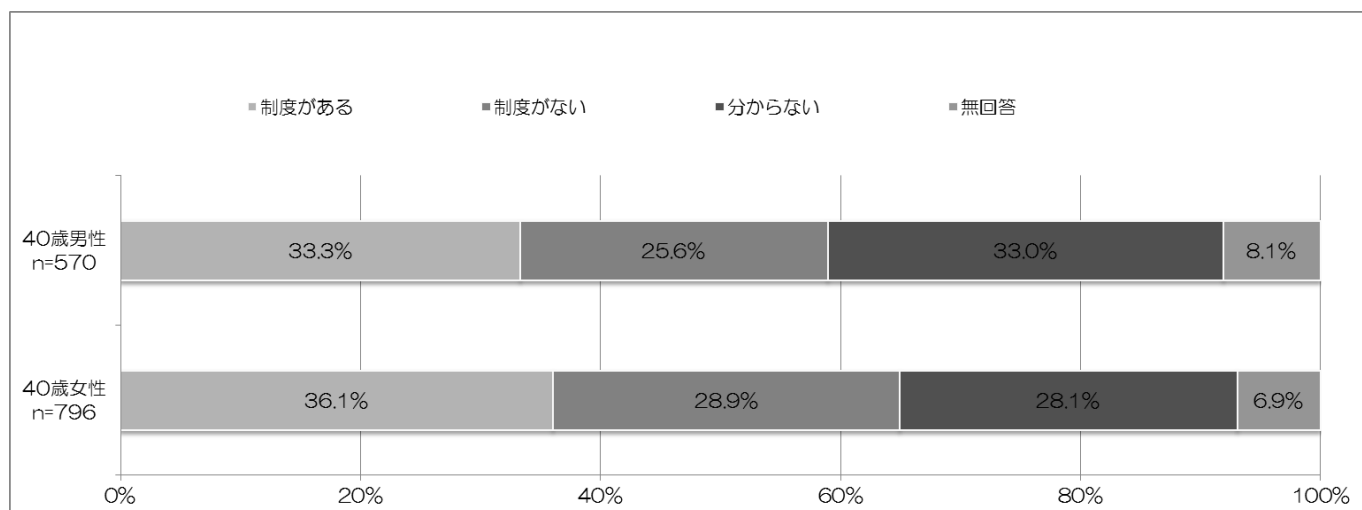


³ 無回答を除いた場合。

保険種別に見ると、国保加入者においては無回答の割合が最も高く、組合健保加入者においては「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高かった。

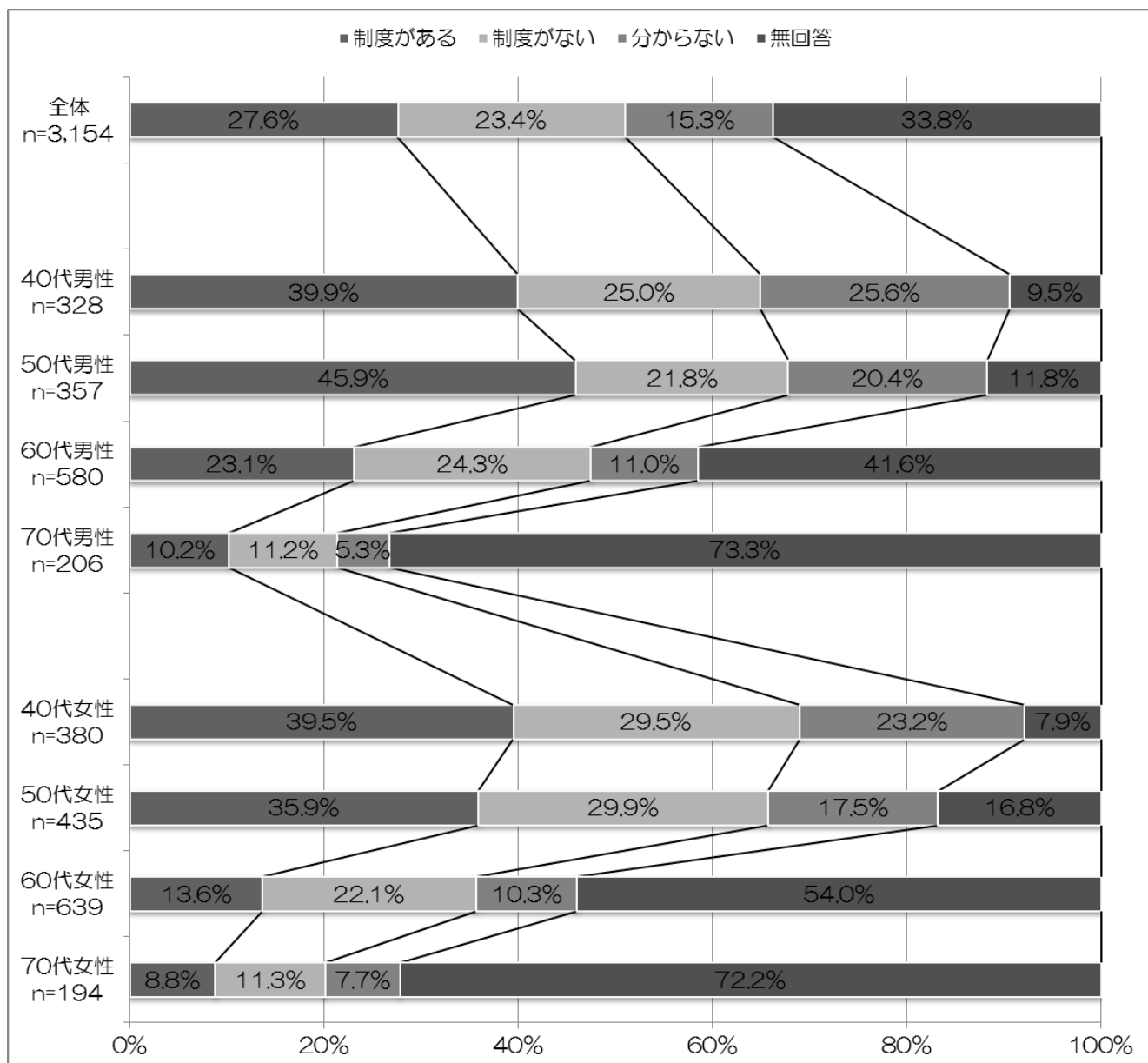


◆40歳の傾向



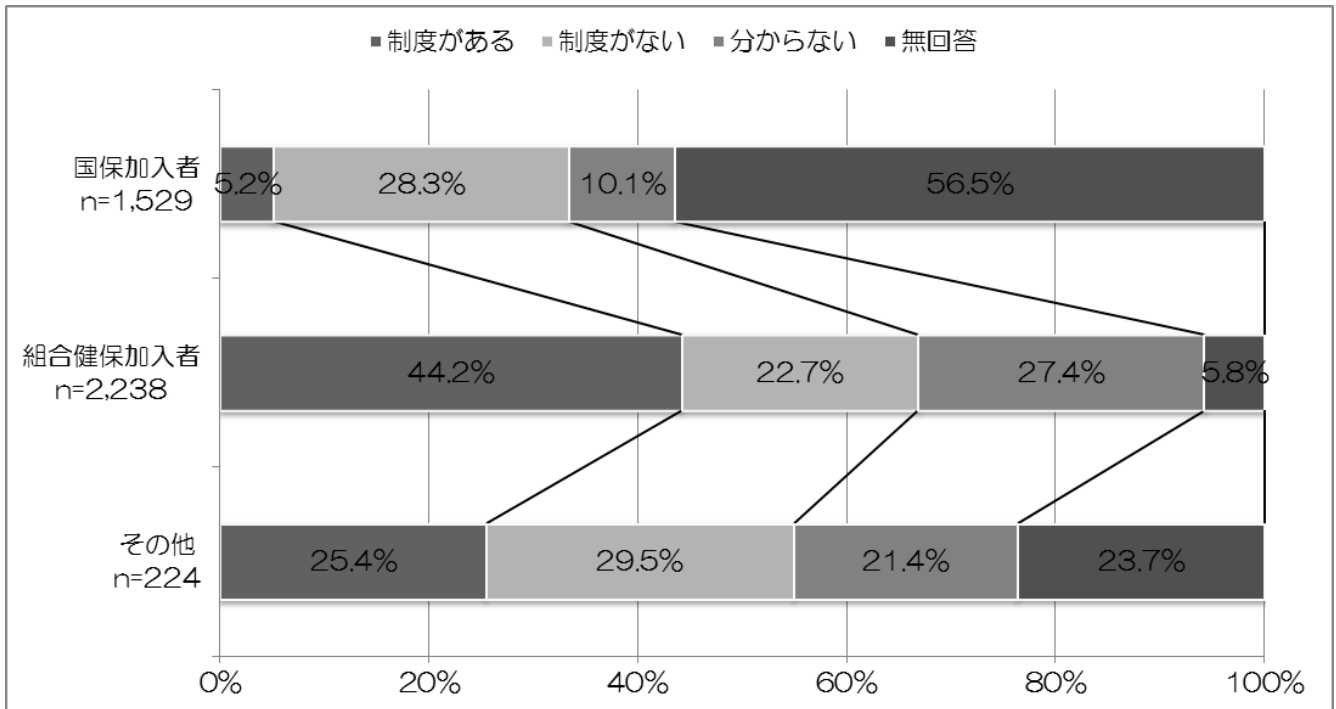
◆肺がん検診

肺がん検診職域受診制度の有無に関しては、全体では「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高く、27.6%であった⁴。年代別・性別にみると、男性では40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高く、また一方で60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。また、女性でも40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。

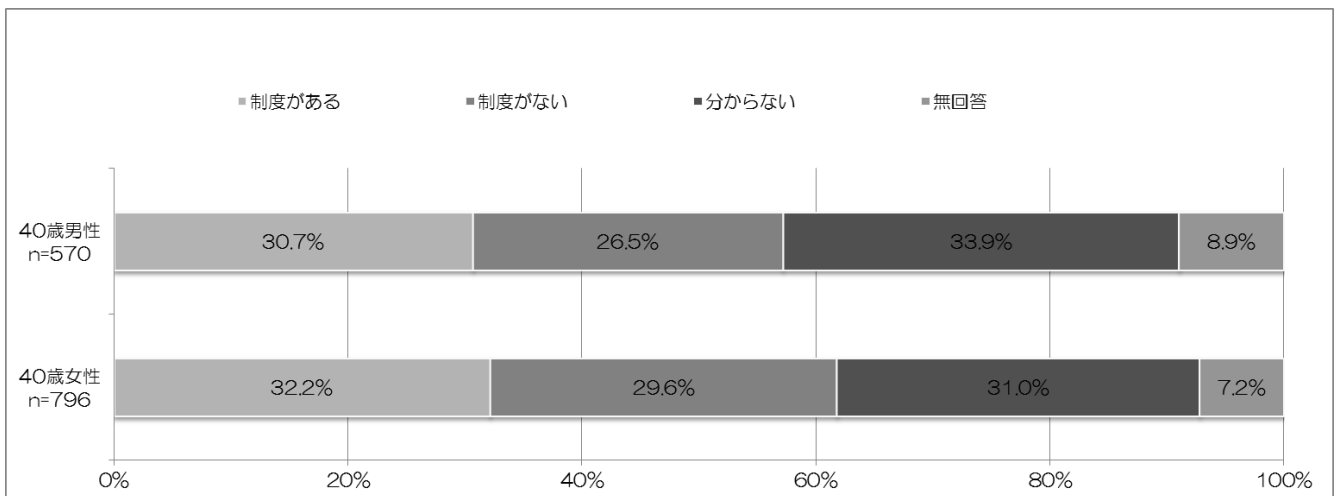


⁴ 無回答を除いた場合。

保険種別に見ると、国保加入者においては無回答の割合が最も高く、組合健保加入者においては「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高かった。

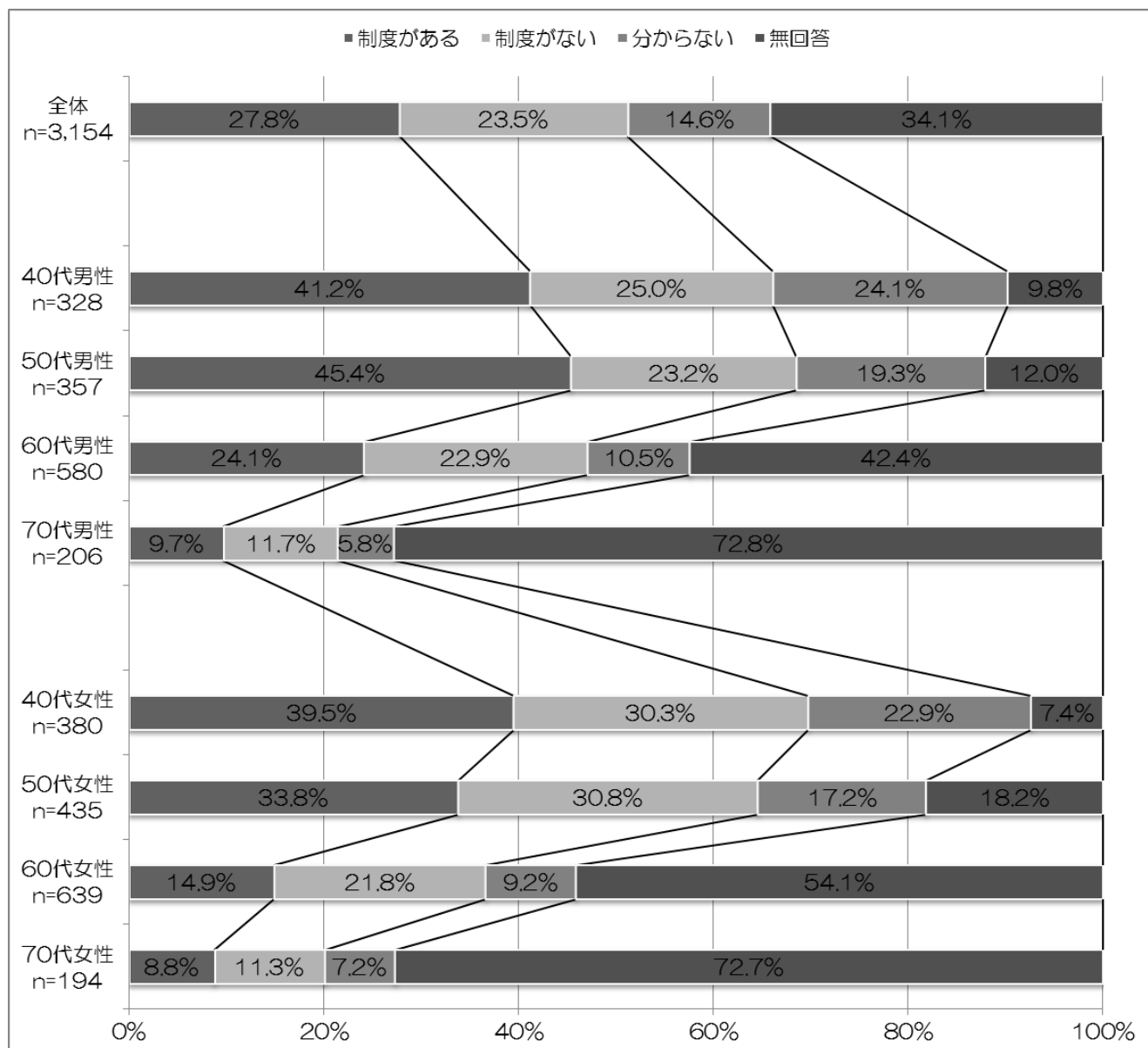


◆40歳の傾向



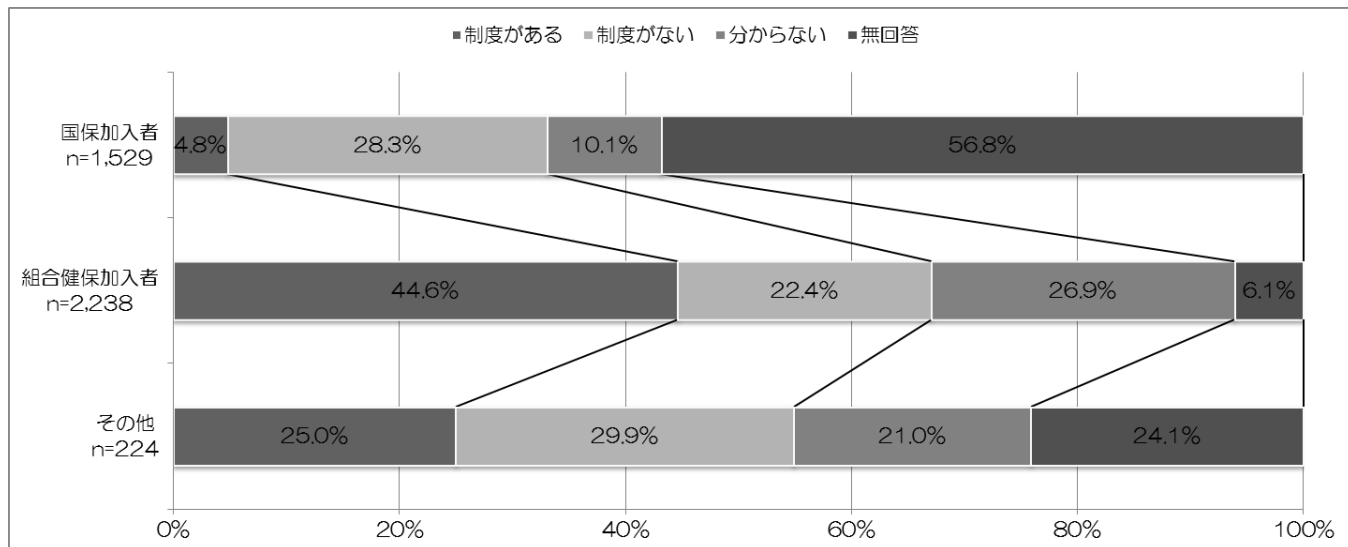
◆大腸がん検診

大腸がん検診職域受診制度の有無に関しては、全体では「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高く、27.8%であった⁵。年代別・性別にみると、男性では40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。また、女性では40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。

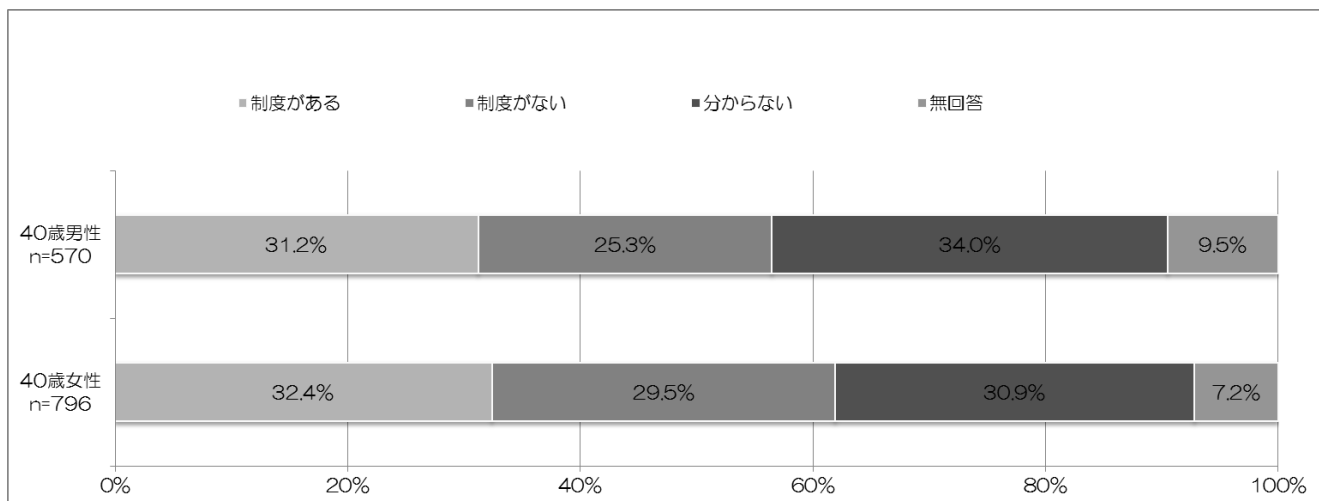


⁵ 無回答を除いた場合。

保険種別に見ると、国保加入者においては無回答の割合が最も高く、組合健保加入者においては「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高かった。

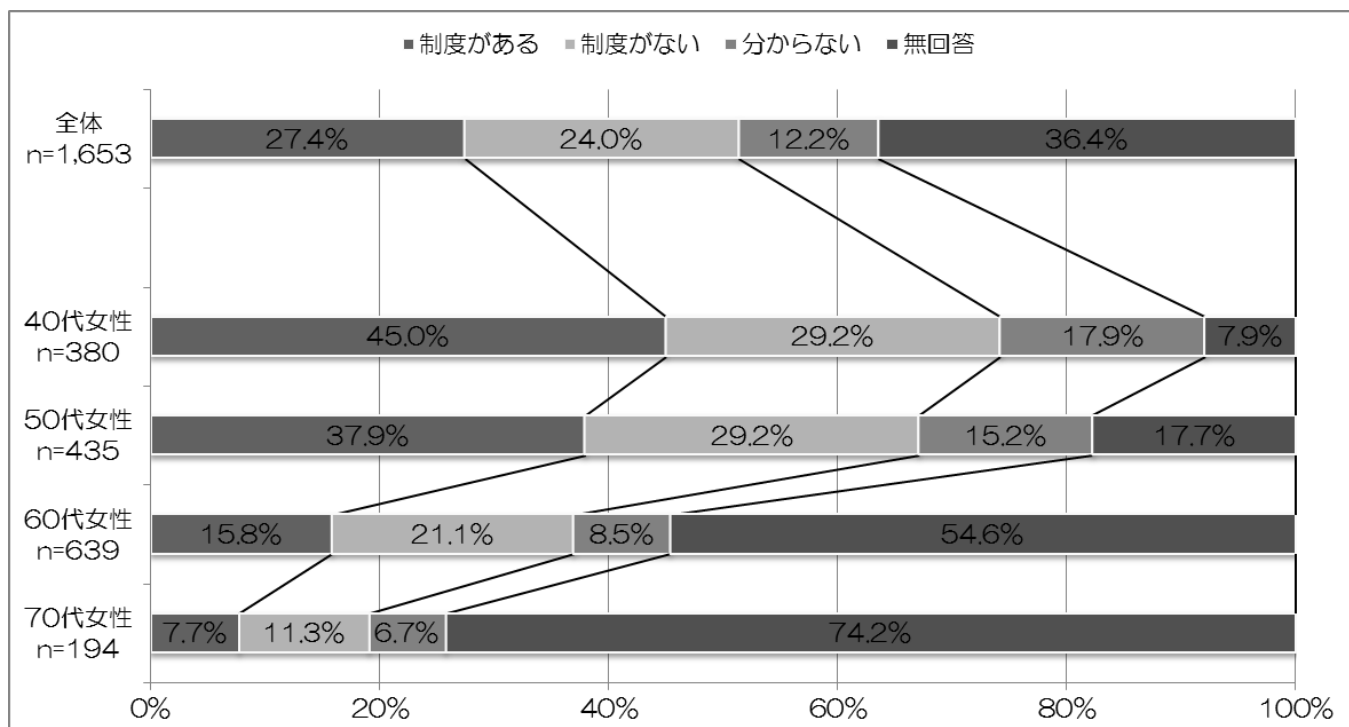


◆40歳の傾向



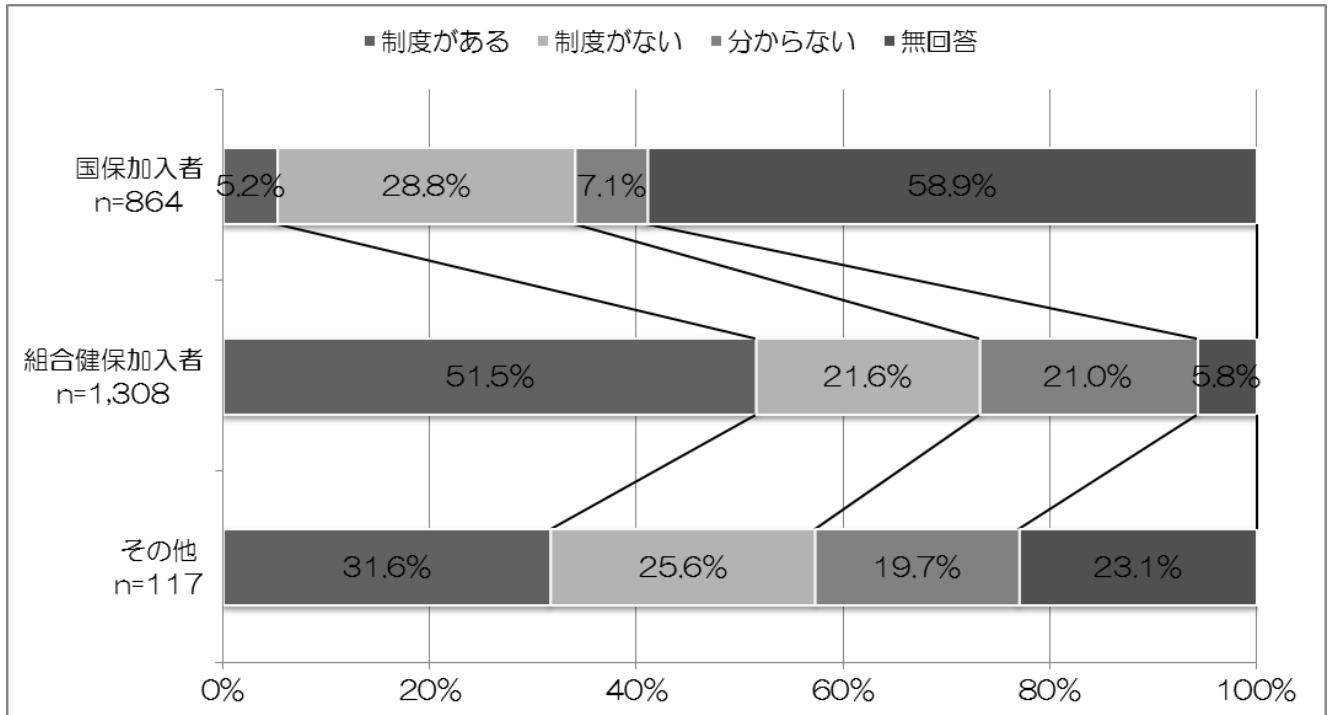
◆乳がん検診

乳がん検診職域受診制度の有無に関しては、全体では「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高く、27.4%であった⁶。年代別にみると、40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。

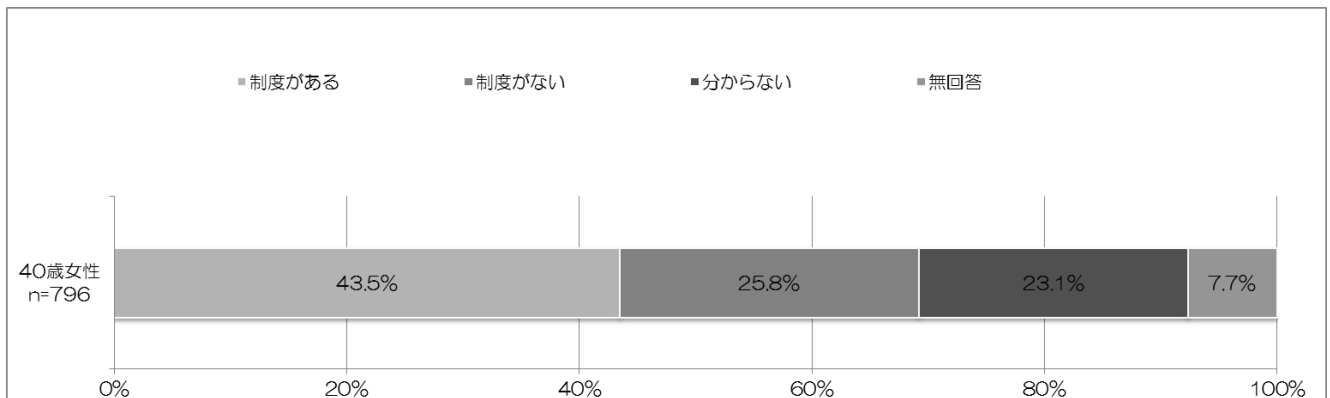


⁶ 無回答を除いた場合。

保険種別に見ると、国保加入者においては無回答の割合が最も高く、組合健保加入者においては「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高かった。

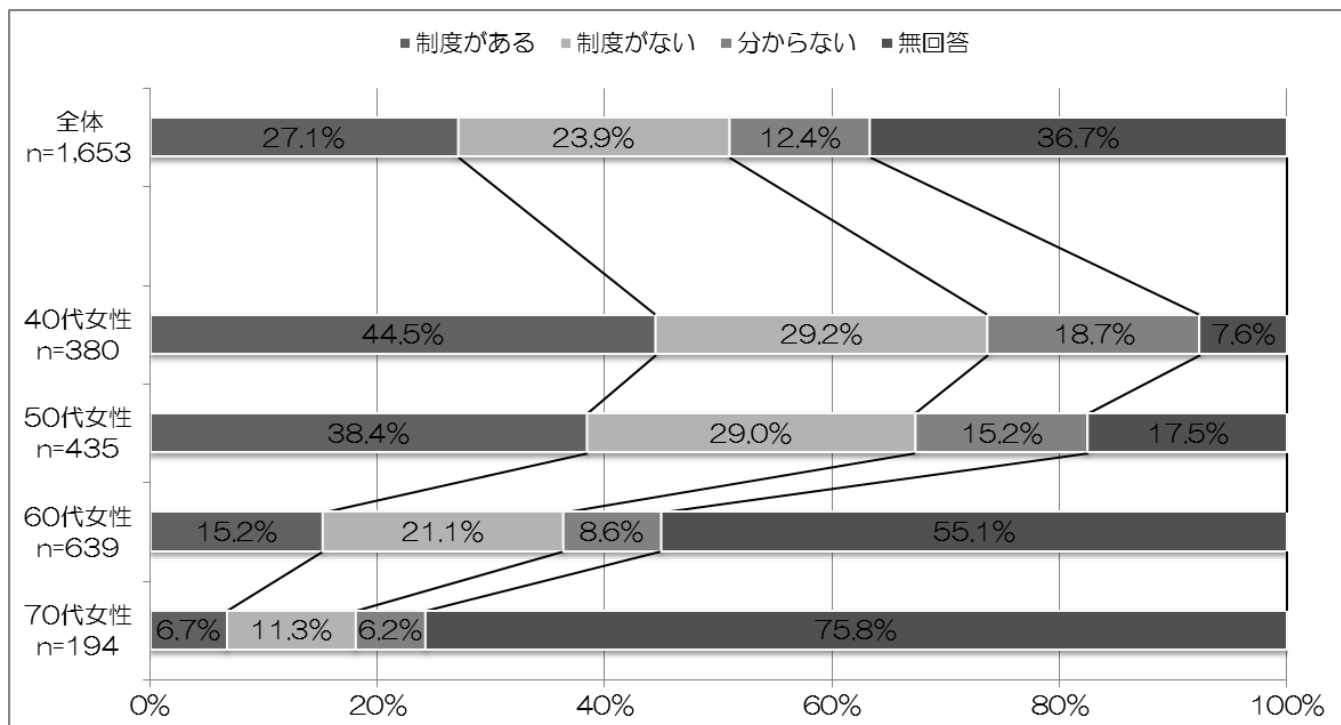


◆40歳の傾向



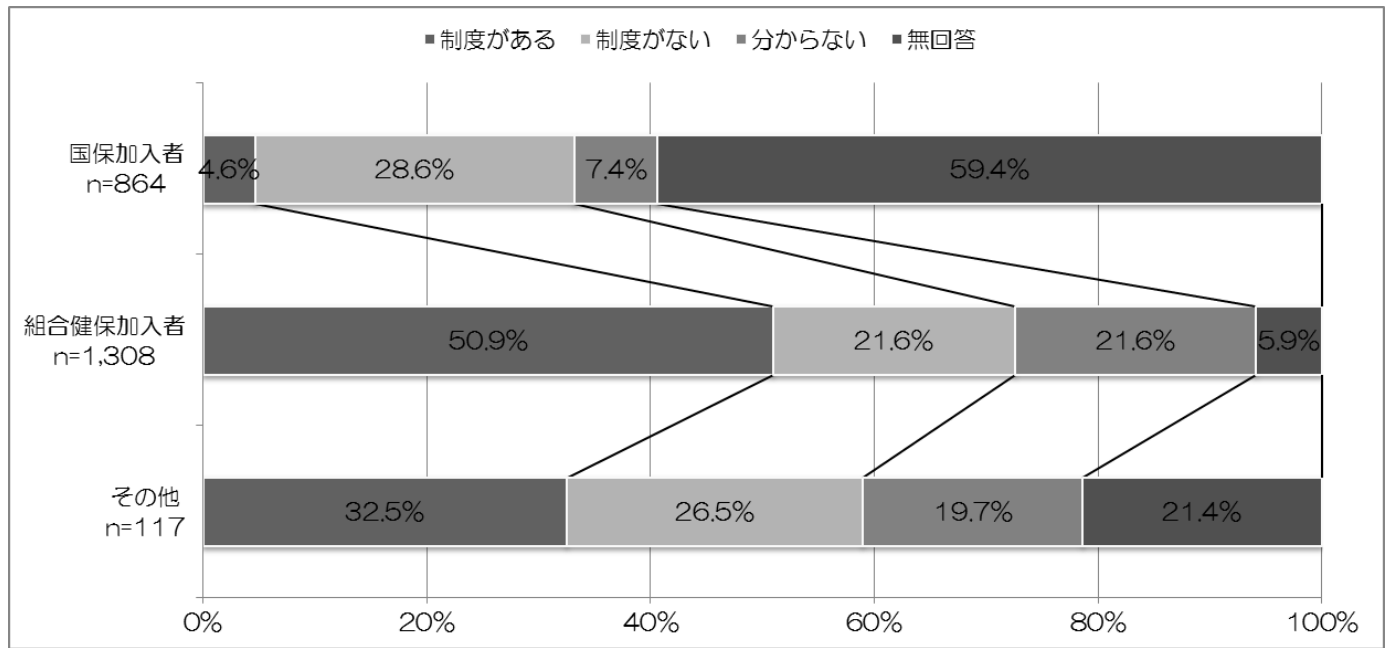
◆子宮がん検診

子宮がん検診職域受診制度の有無に関しては、全体では「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高く、27.1%であった⁷。年代別にみると、40代、50代において「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高い一方で、60代、70代においては無回答の割合が最も高かった。

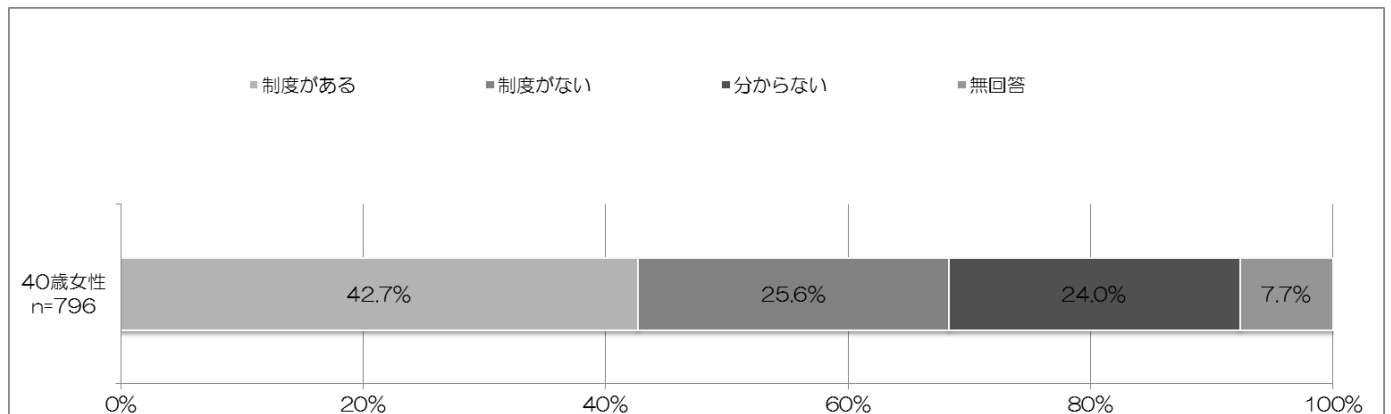


⁷ 無回答を除いた場合。

保険種別に見ると、国保加入者においては無回答の割合が最も高く、組合健保加入者においては「制度がある」と答えた回答者の割合が最も高かった。



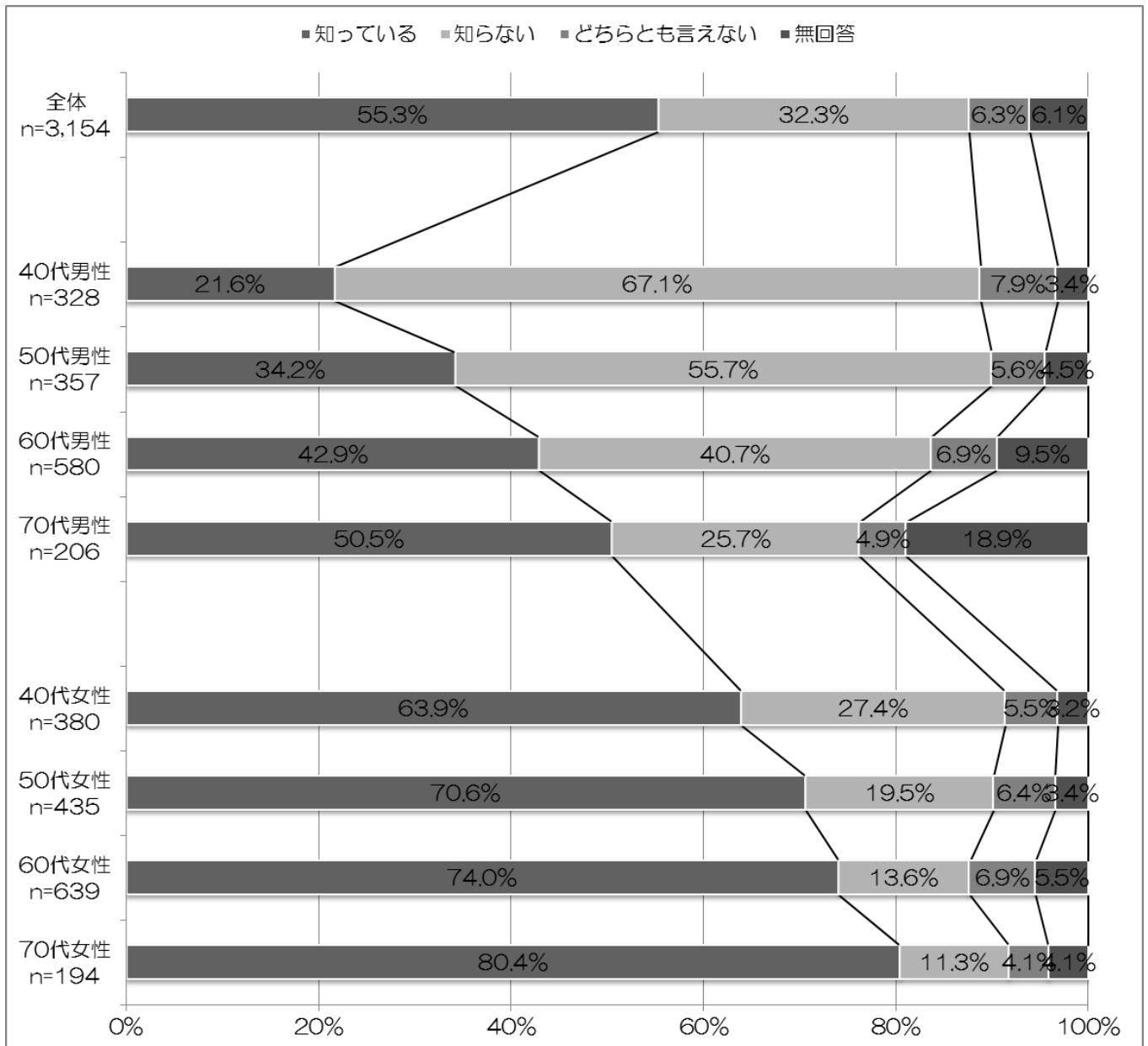
◆40歳の傾向



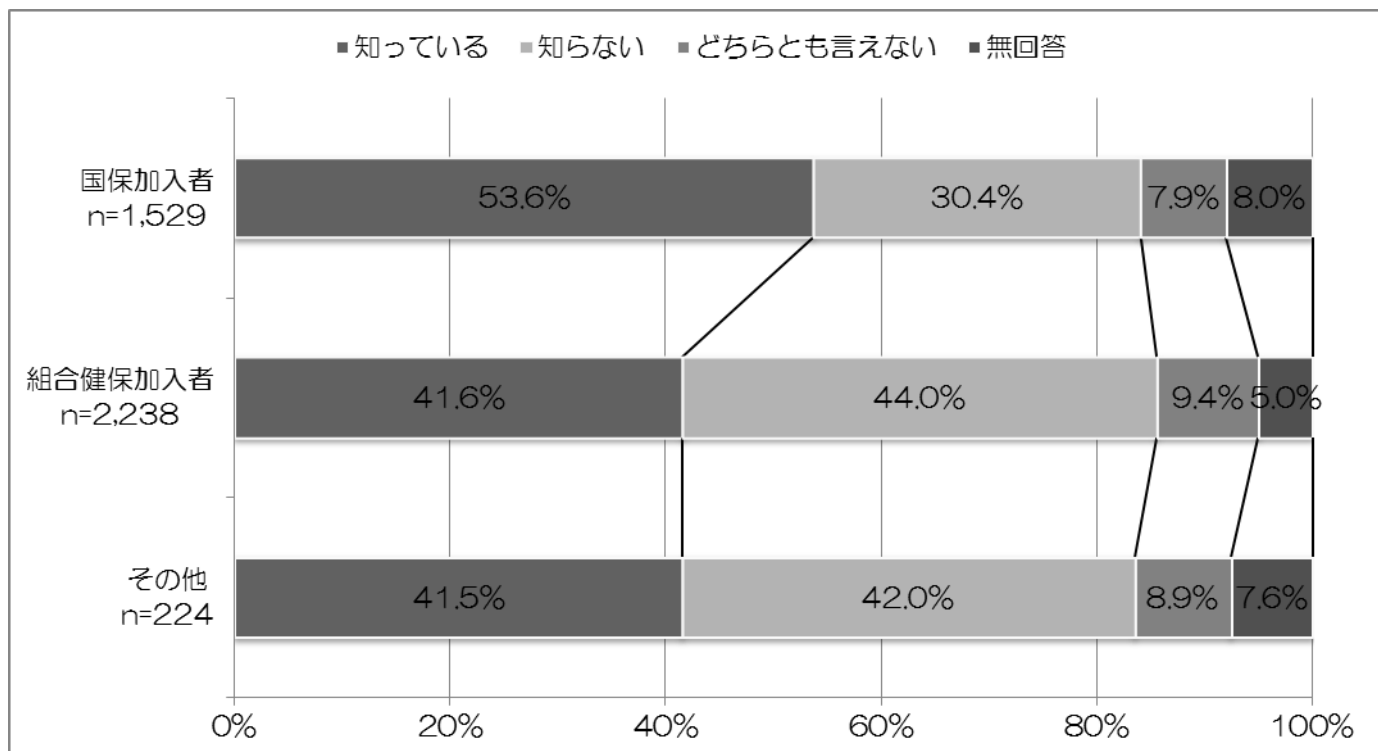
問8. 現在お住まいの八王子市にがん検診の制度があることをご存知でしたか？それぞれのがんについて最も当てはまる選択肢の○を1つずつ塗りつぶしてください。

◆胃がん検診

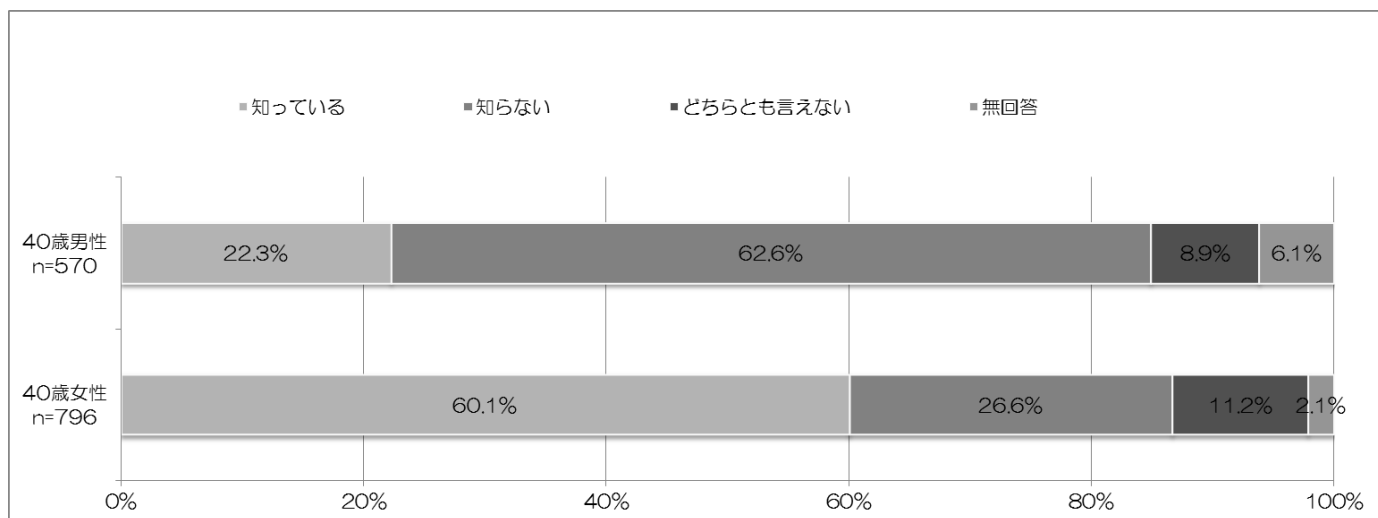
市の胃がん検診受診制度の認知の有無に関しては、全体では「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、55.3%であった。年代別・性別にみると、男性では40代、50代において「知らない」と答えた回答者の割合が最も高く、一方で60代、70代において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性ではすべての年代において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、国保加入者においては「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、組合健保加入者においては「知らない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

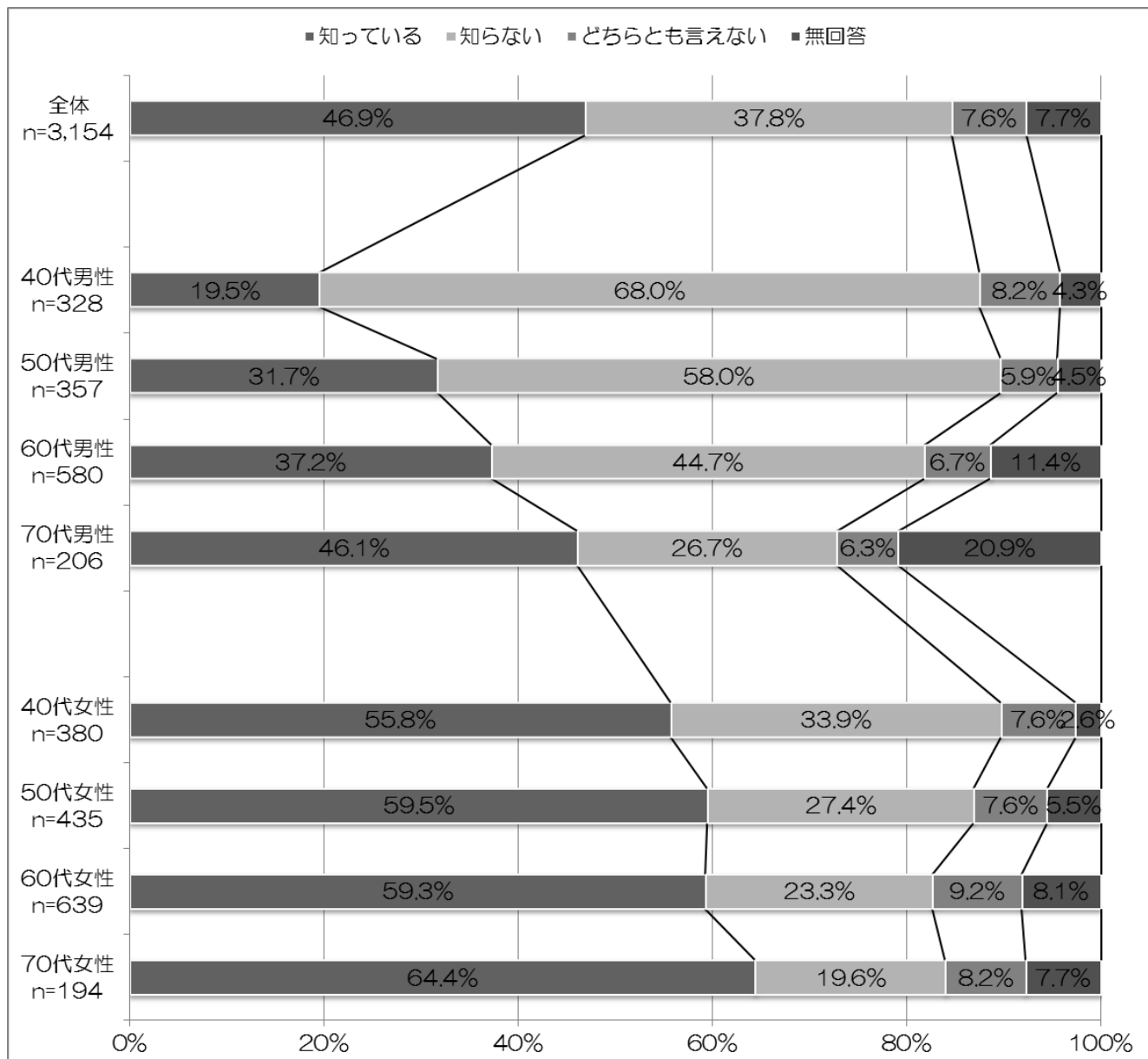


◆40歳の傾向

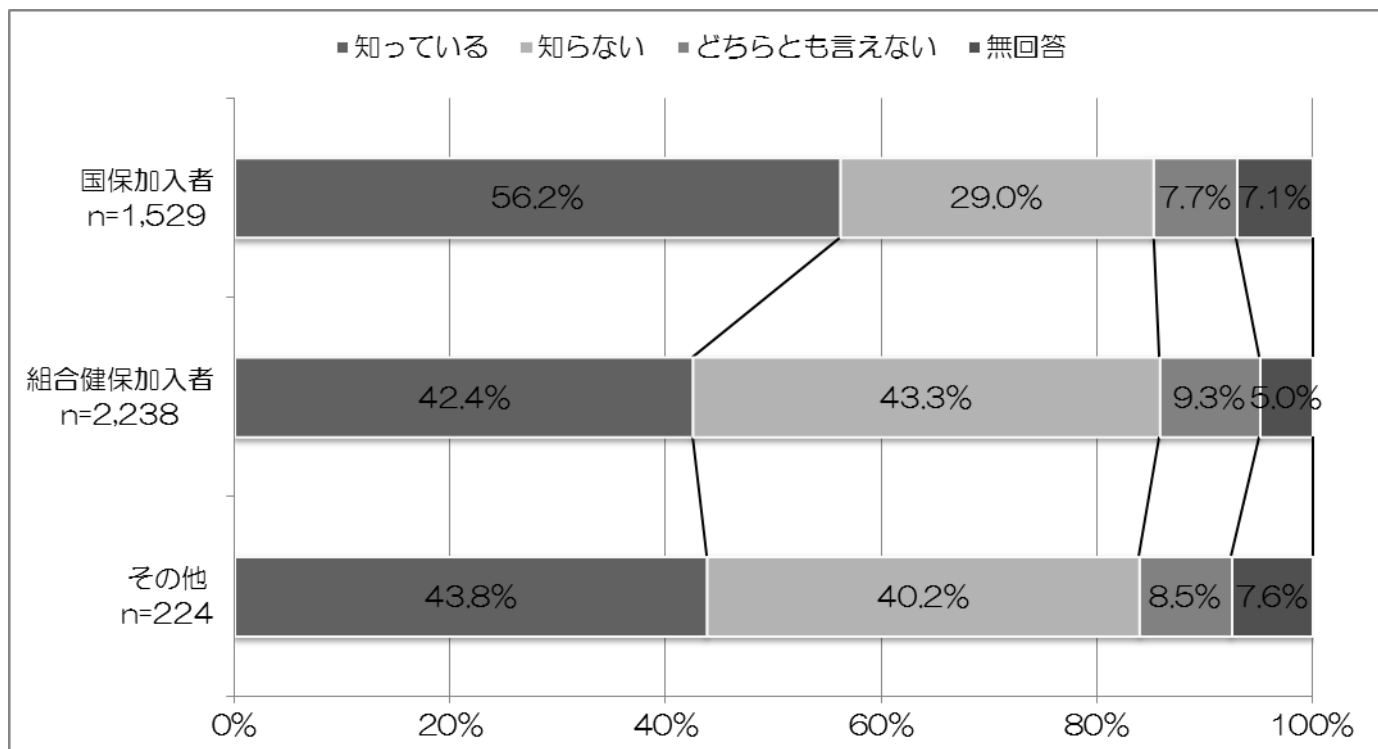


◆肺がん検診

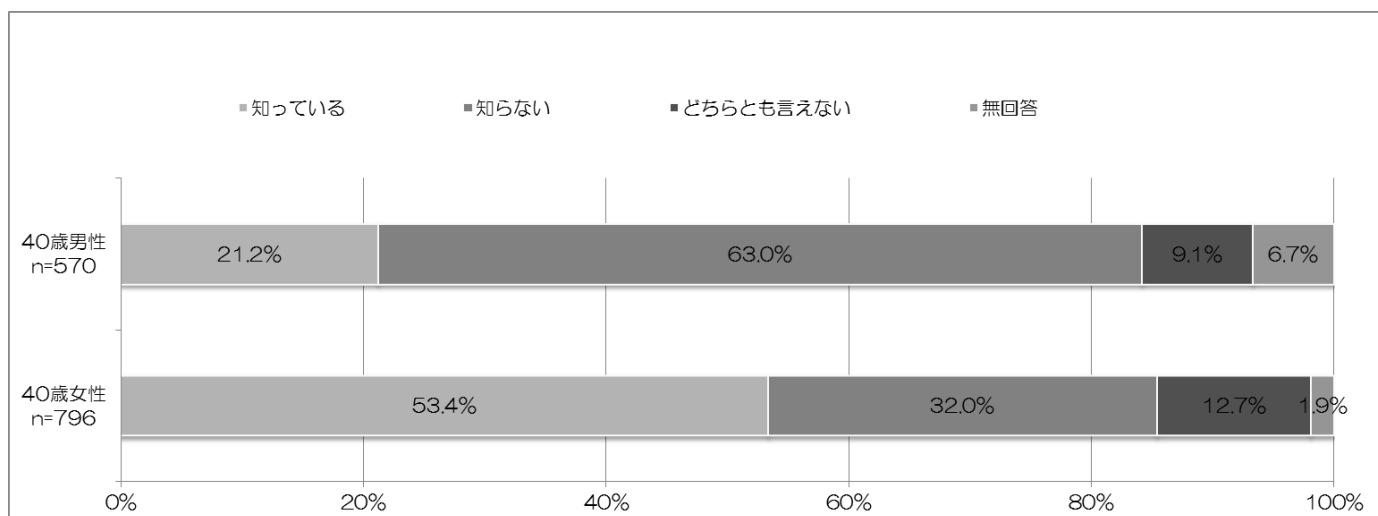
市の肺がん検診受診制度の認知の有無に関しては、全体では「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、46.9%であった。年代別・性別にみると、男性では40代、50代、60代において「知らない」と答えた回答者の割合が最も高く、一方で70代において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性ではすべての年代において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、国保加入者においては「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、組合健保加入者においては「知らない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

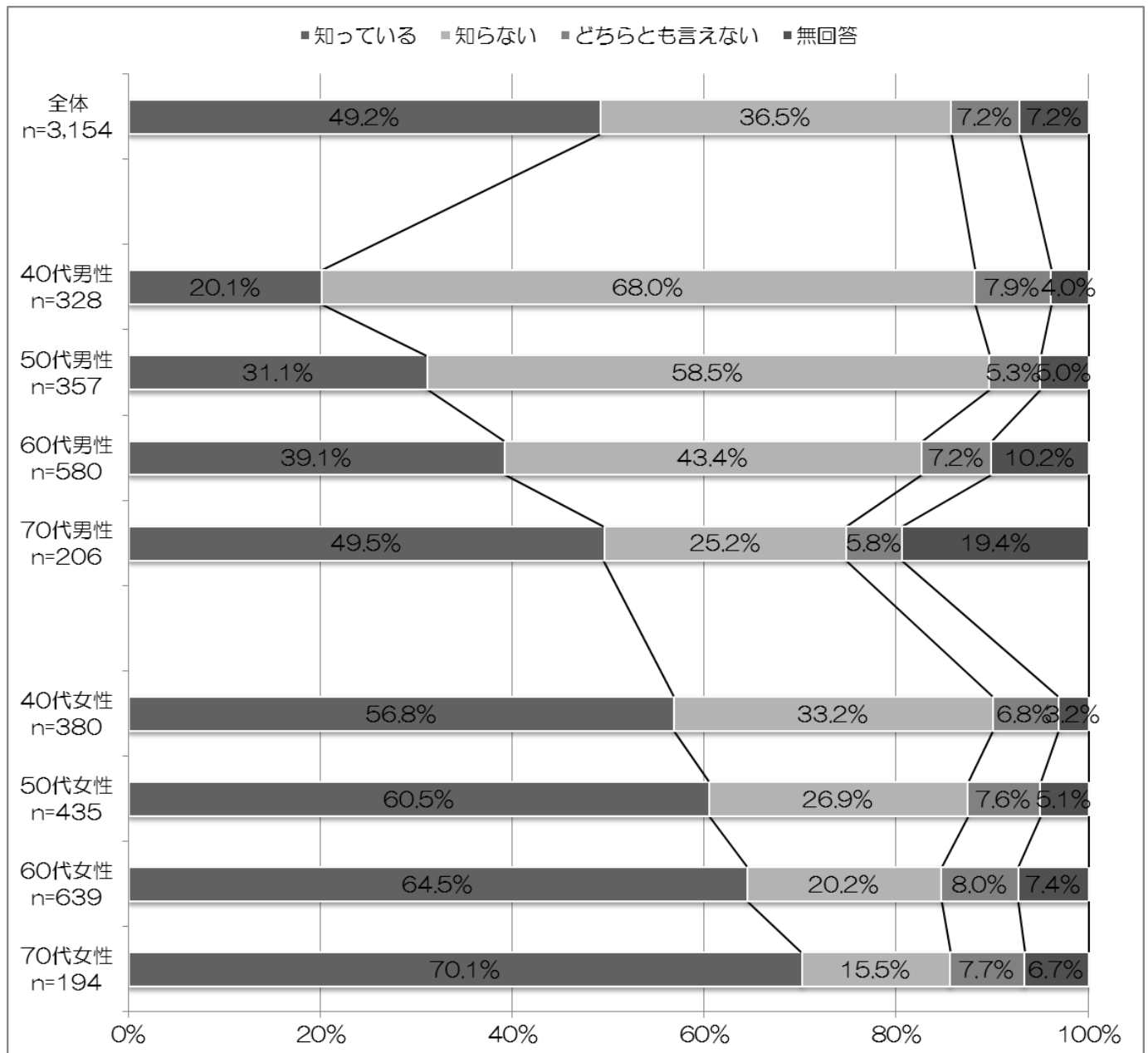


◆40歳の傾向

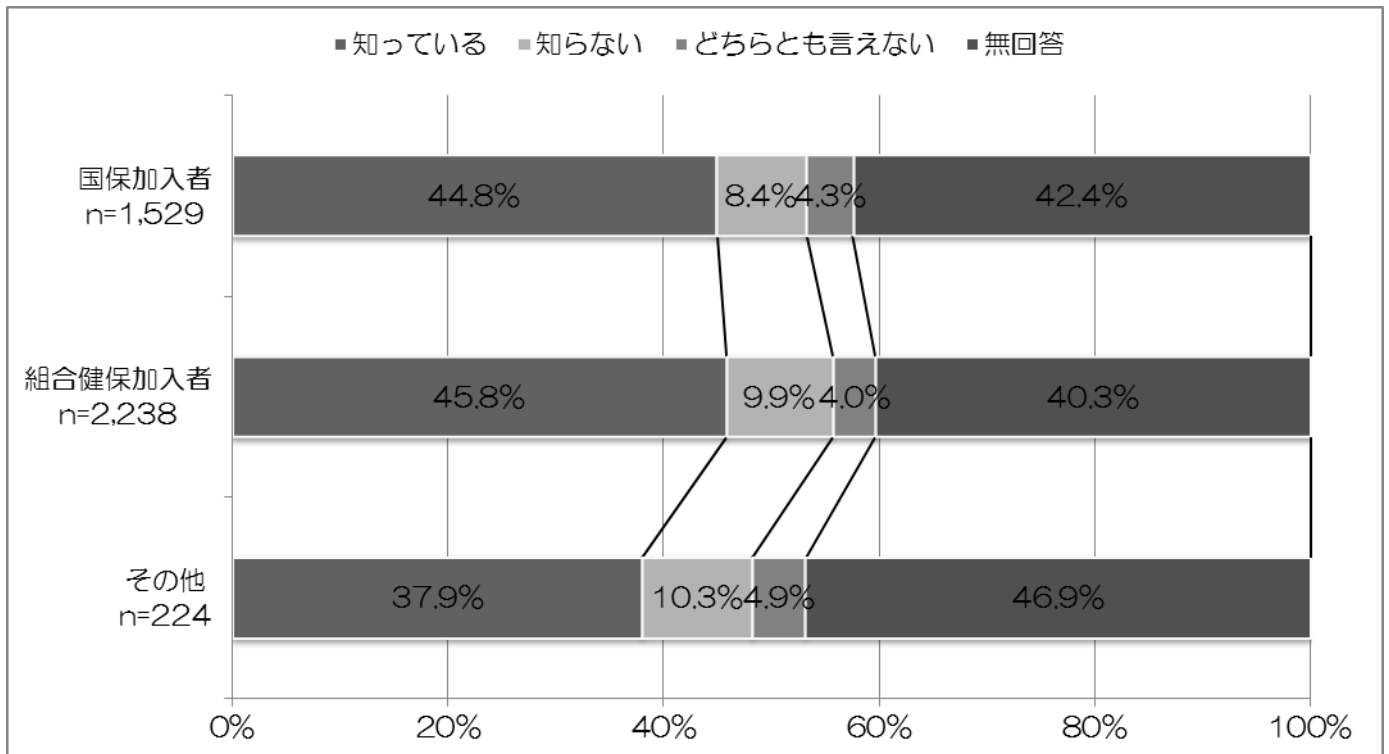


◆大腸がん検診

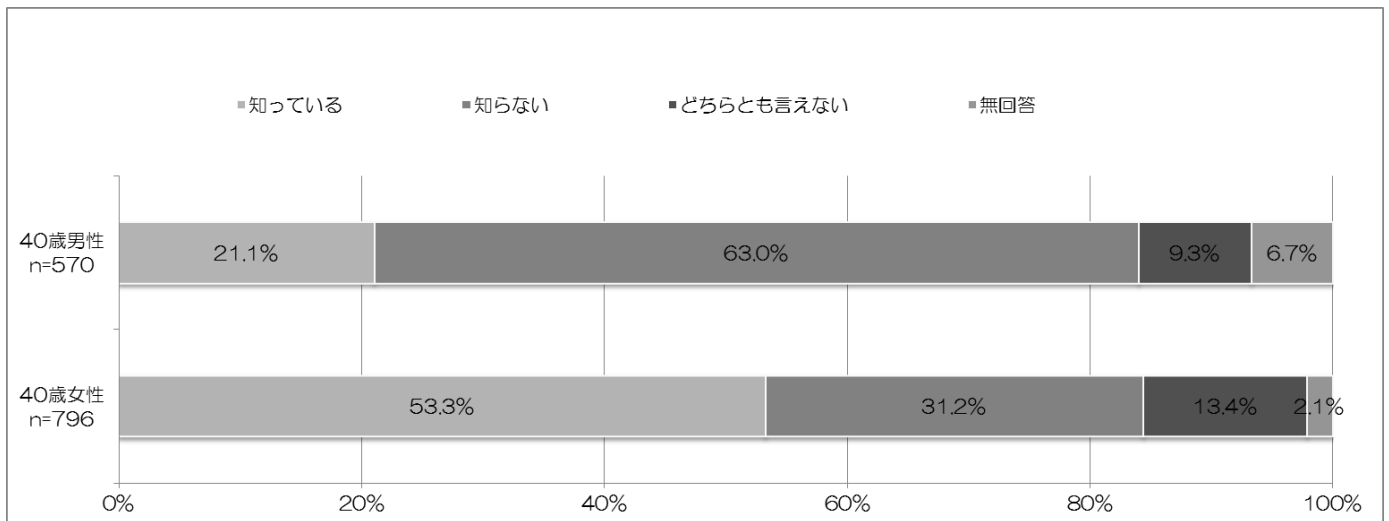
市の大腸がん検診受診制度の認知の有無に関しては、全体では「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、49.2%であった。年代別・性別にみると、男性では40代、50代、60代において「知らない」と答えた回答者の割合が最も高く、一方で70代において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性ではすべての年代において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、すべての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。

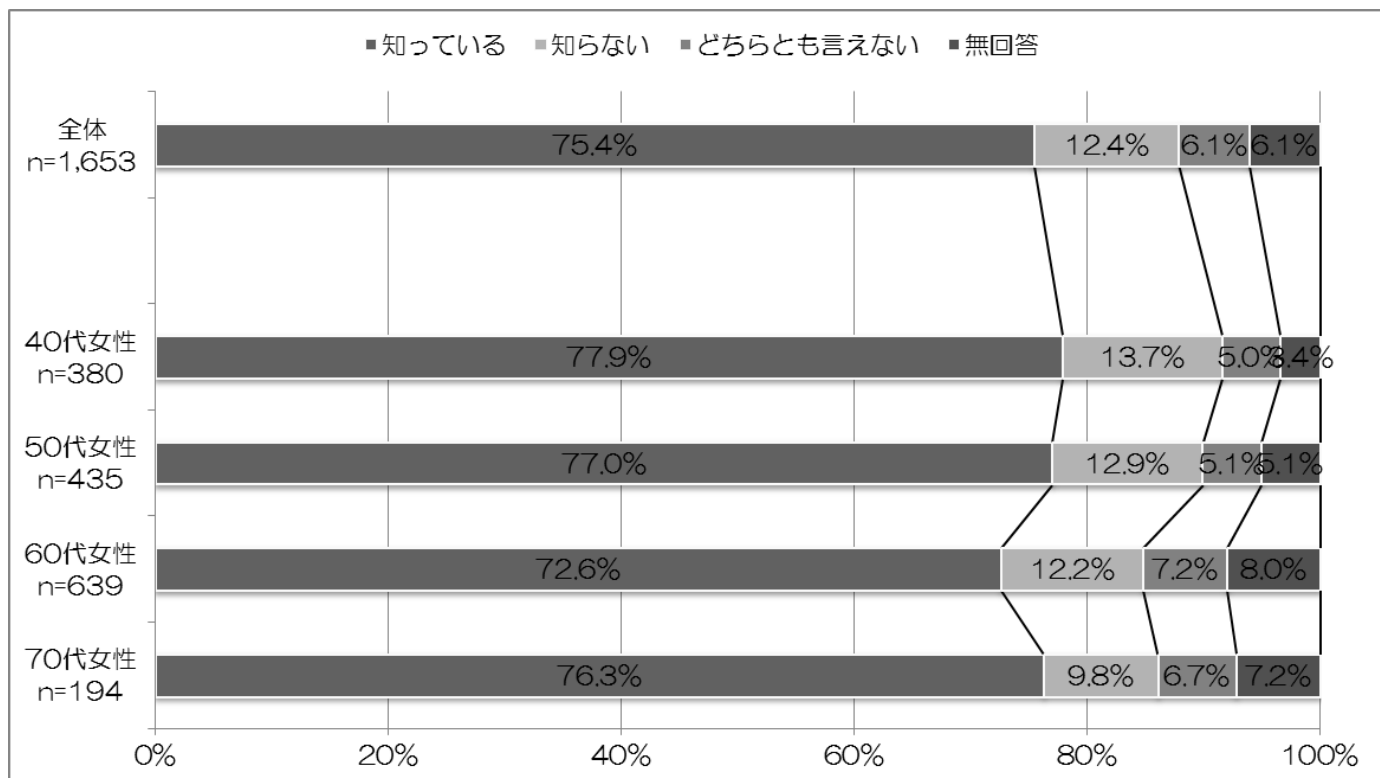


◆40歳の傾向

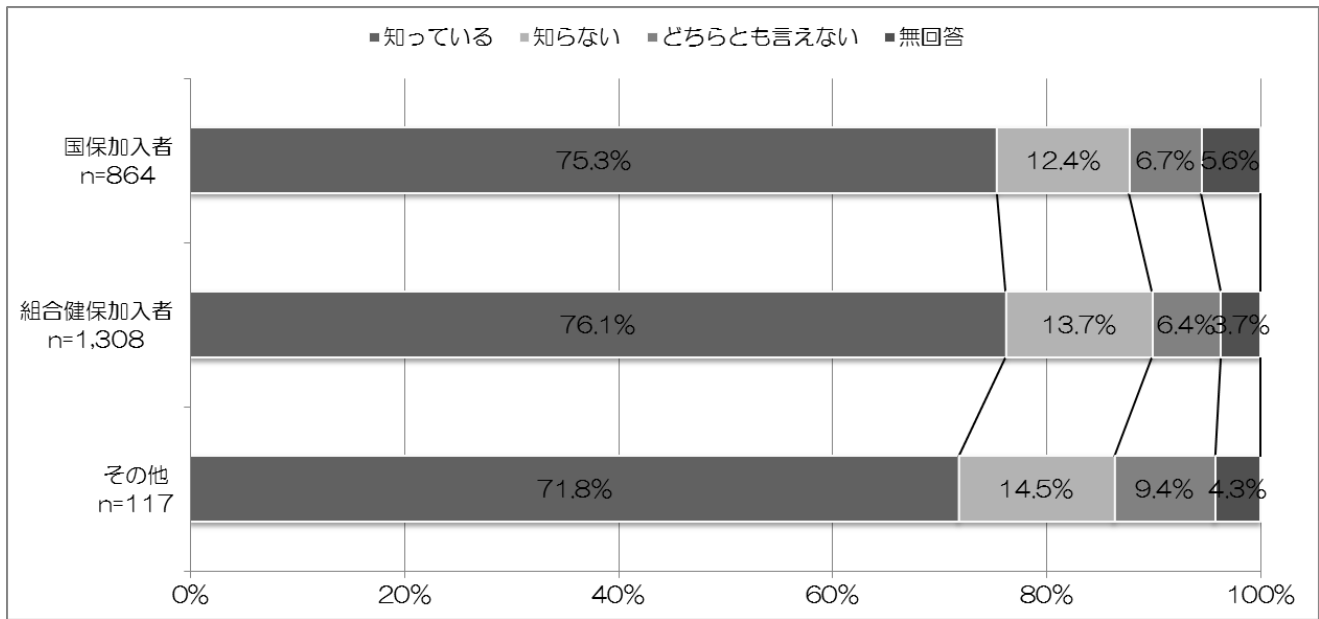


◆乳がん検診（視触診のみ）

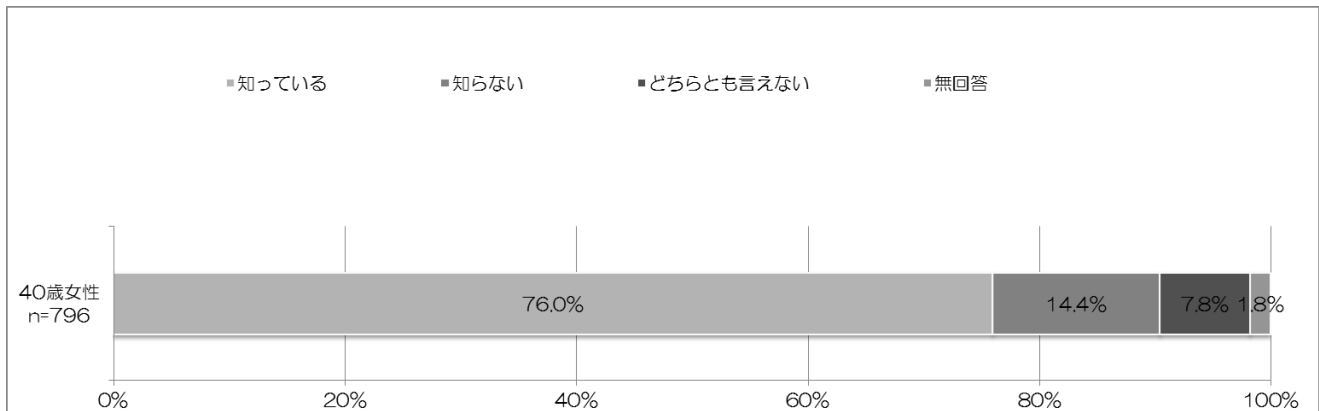
市の乳がん検診（視触診のみ）受診制度の認知の有無に関しては、全体では「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、75.4%であった。年代別に見ても、すべての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、すべての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。

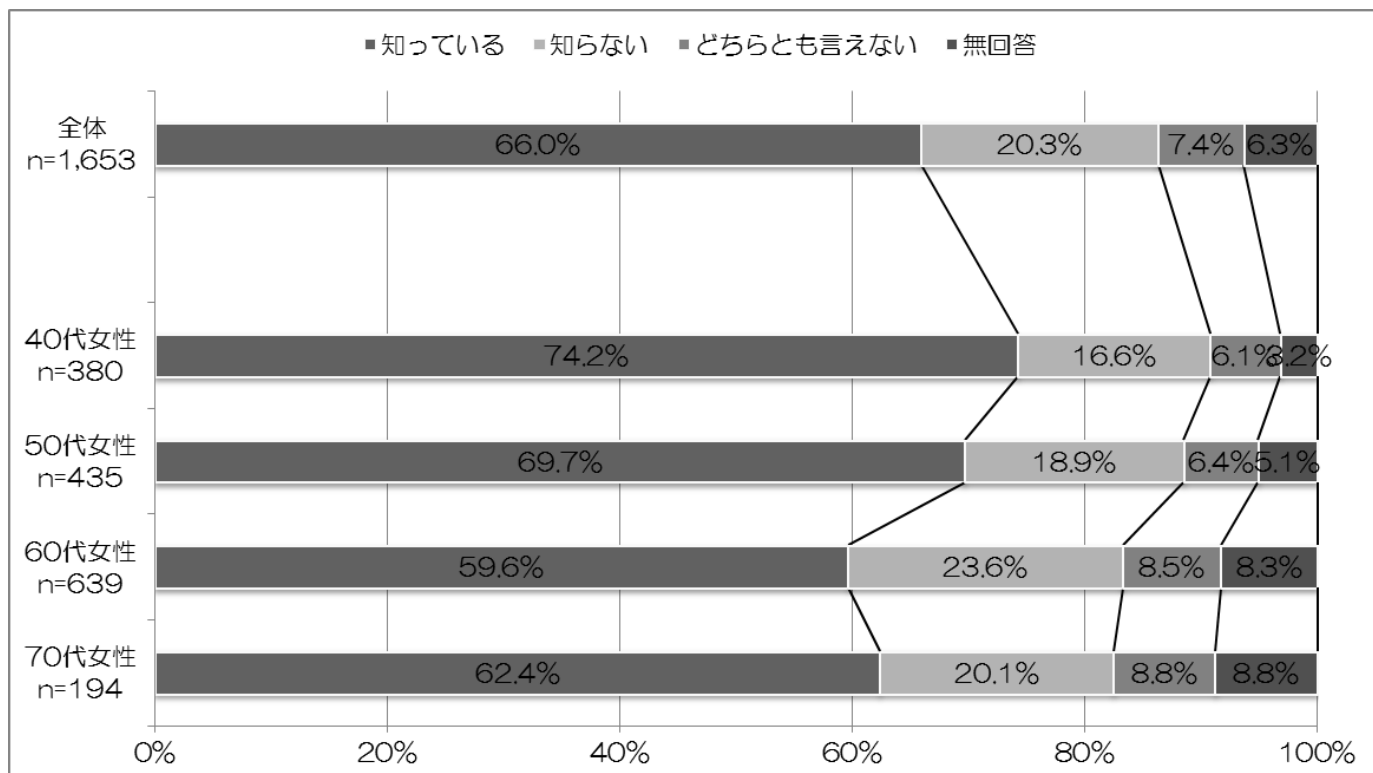


◆40歳の傾向

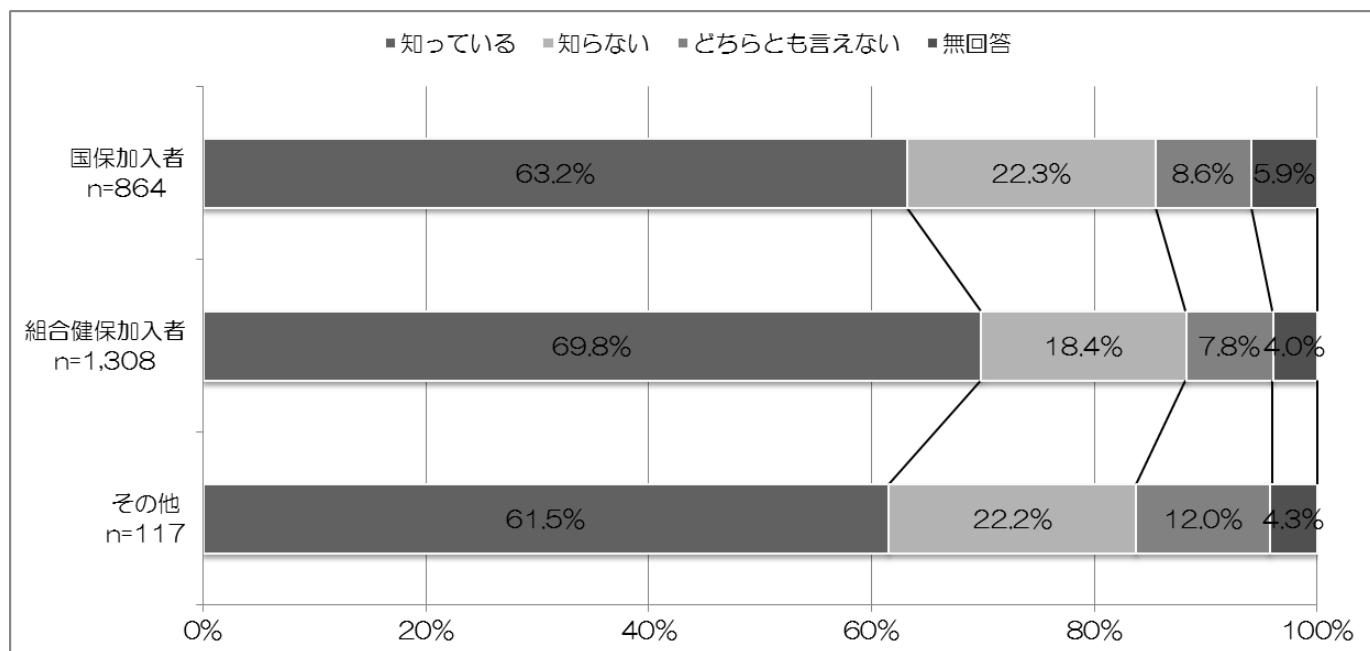


◆乳がん検診（視触診+マンモグラフィ）

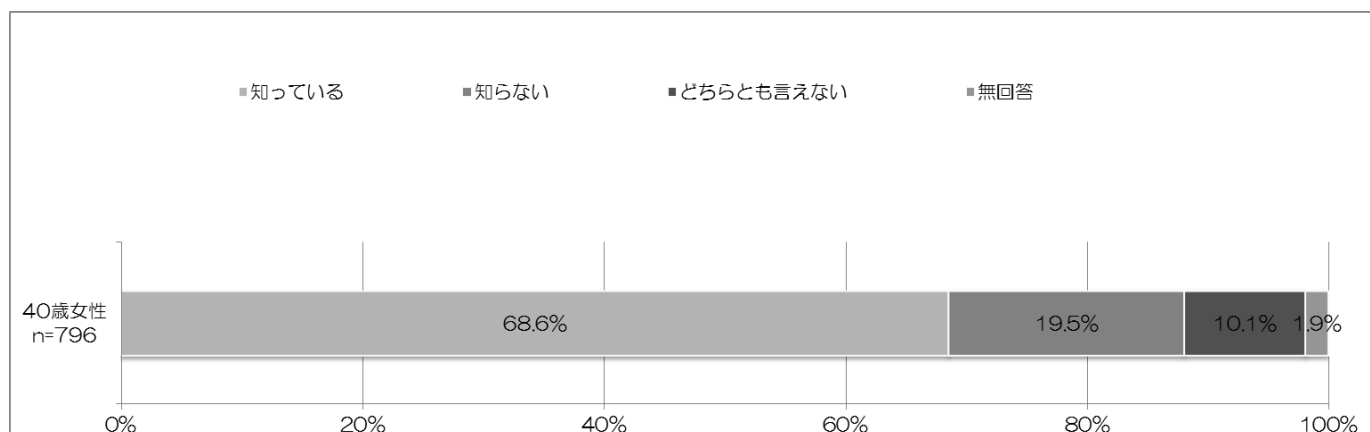
市の乳がん検診（視触診+マンモグラフィ）受診制度の認知の有無に関しては、全体では「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、66.0%であった。年代別に見ても、全ての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。

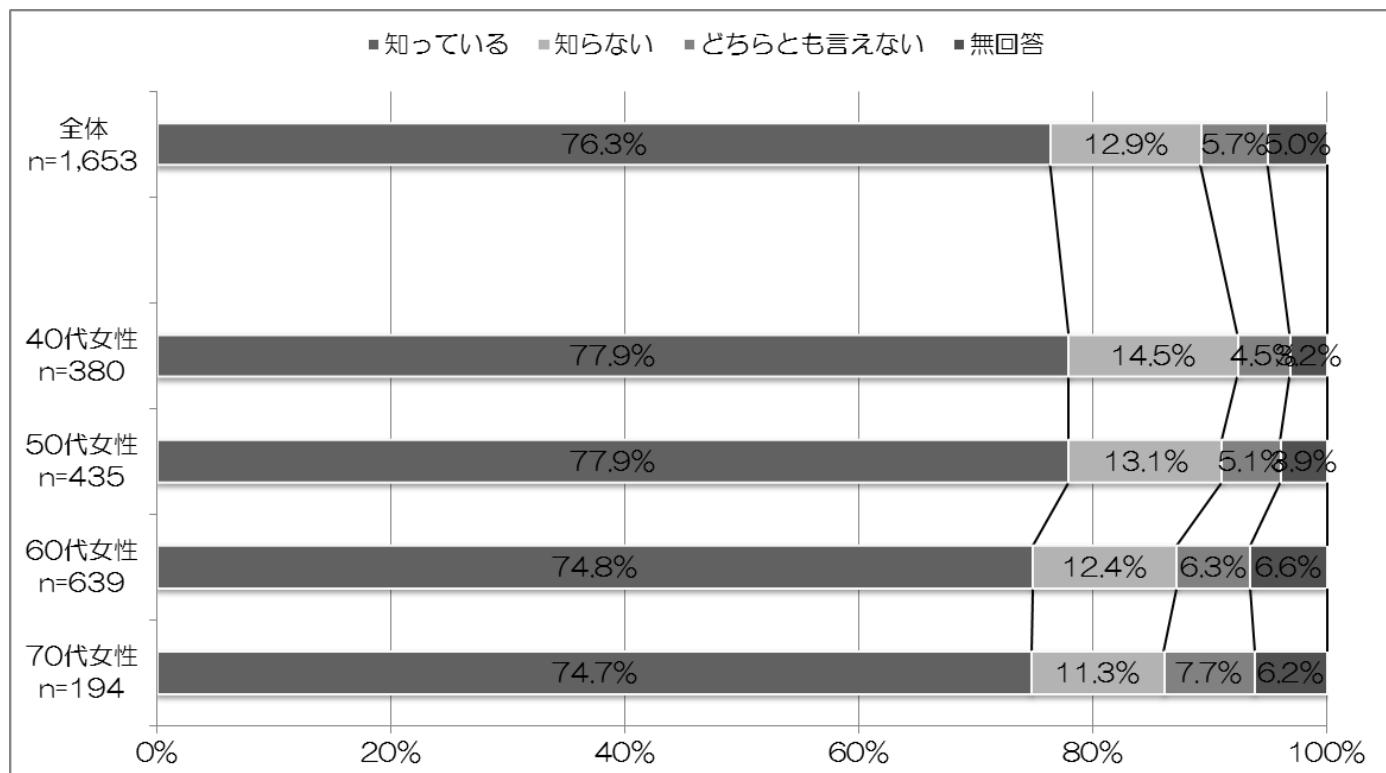


◆40歳の傾向

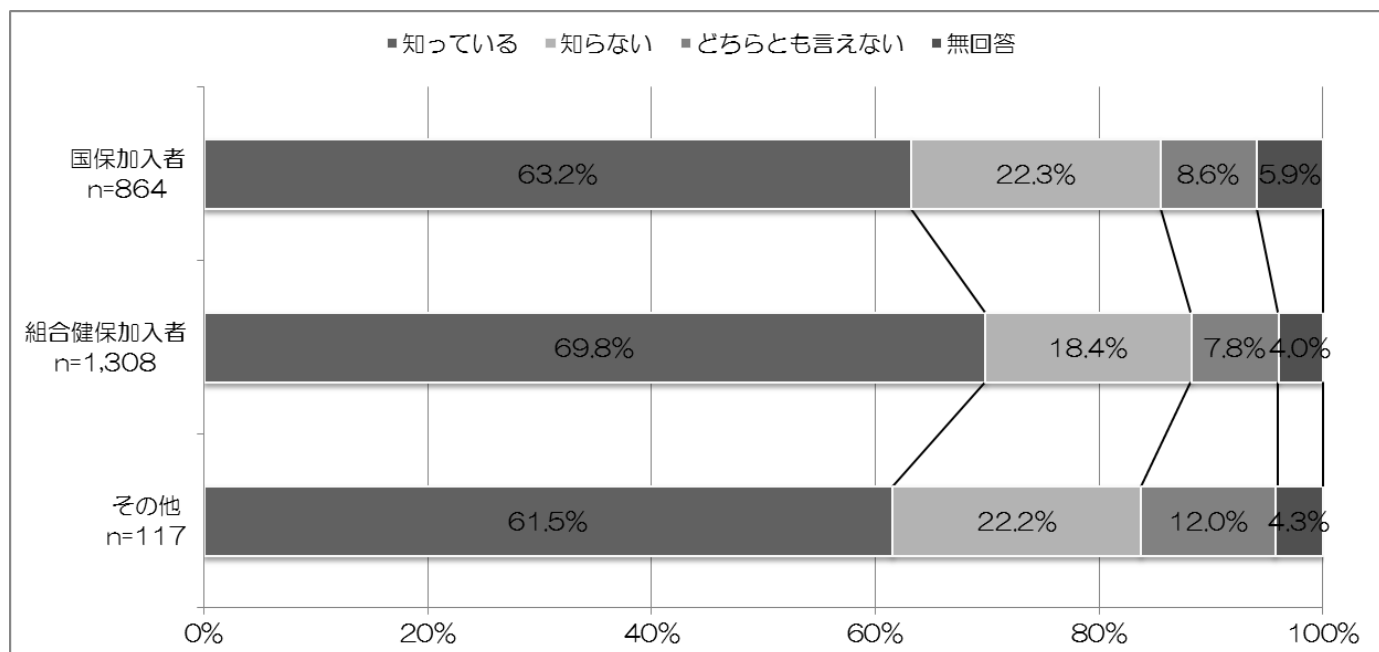


◆子宮がん検診

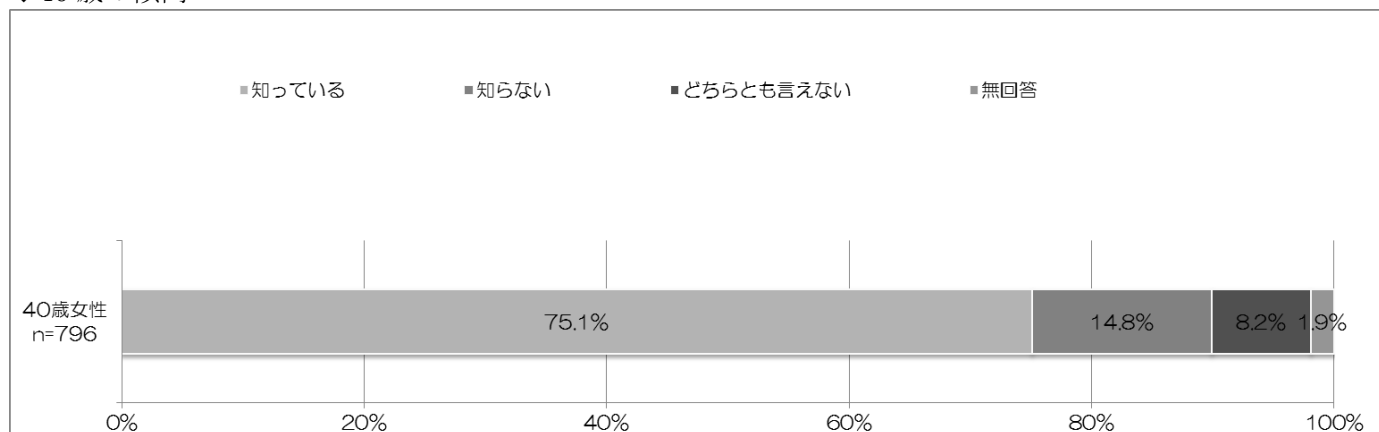
市の子宮がん検診受診制度の認知の有無に関しては、全体では「知っている」と答えた回答者の割合が最も高く、76.3%であった。年代別に見ても、全ての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「知っている」と答えた回答者の割合が最も高かった。



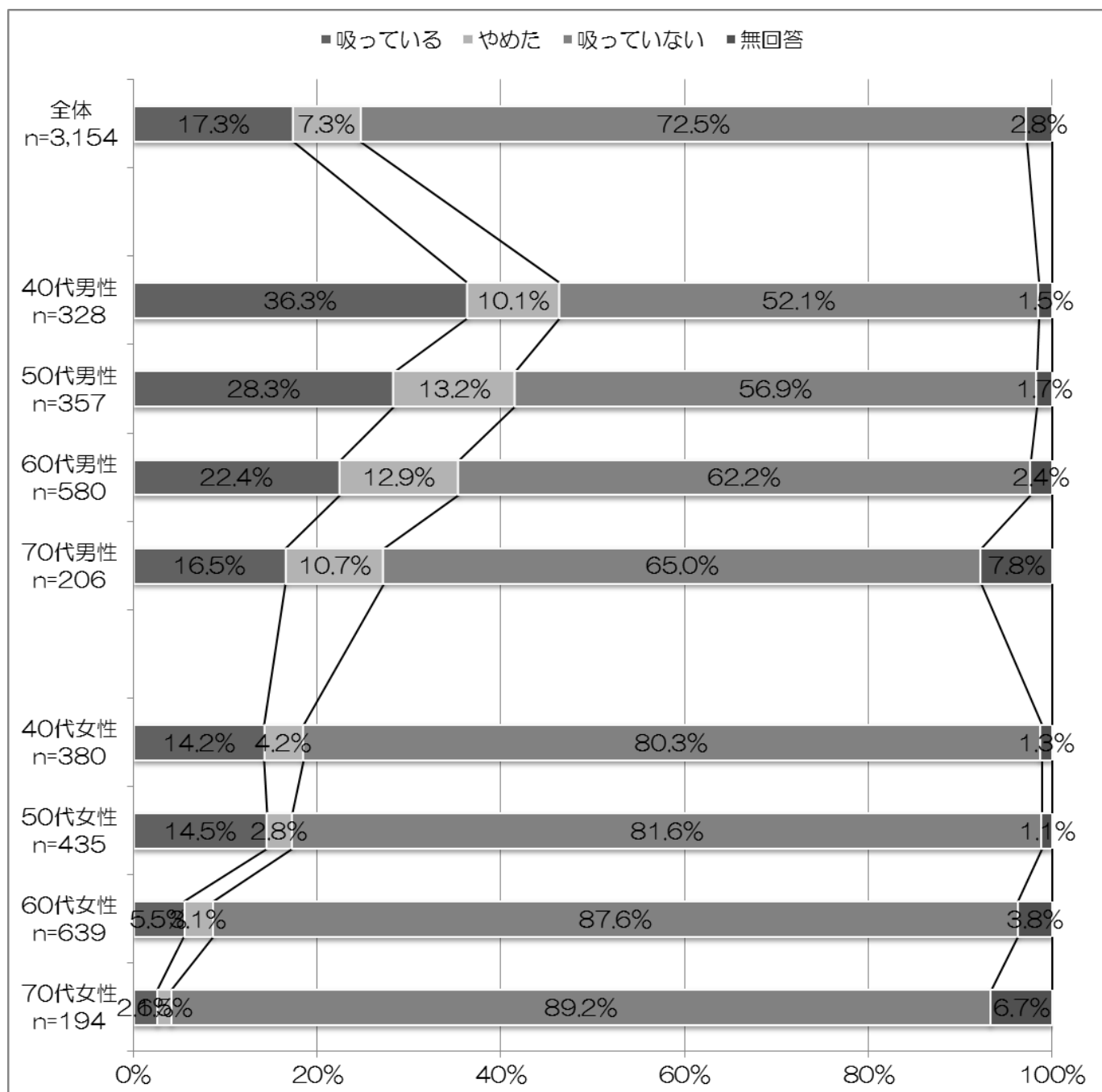
◆40歳の傾向



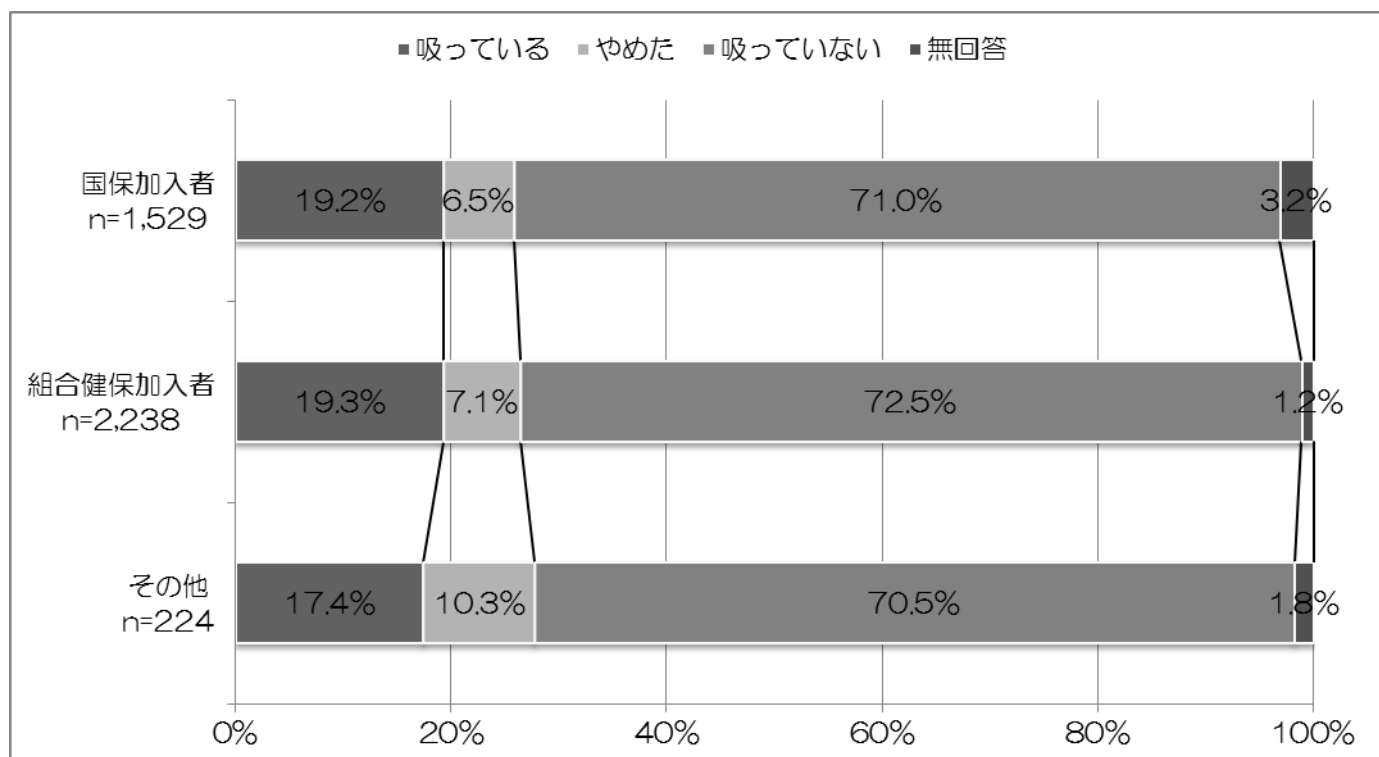
3. 喫煙に関する意識・知識

問9-1. 現在(この1か月間)たばこを吸っていますか？

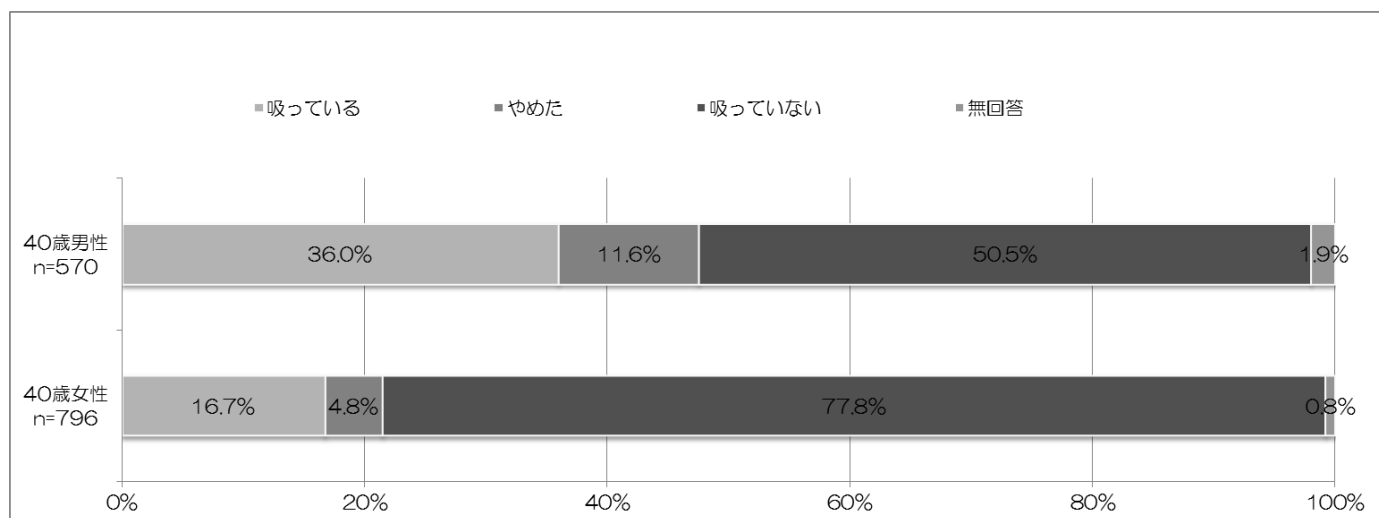
喫煙状況に関しては、全体では「吸っていない」と答えた回答者の割合が最も高く、72.5%であった。年代別・性別にみると、全ての場合において「吸っていない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「吸っていない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

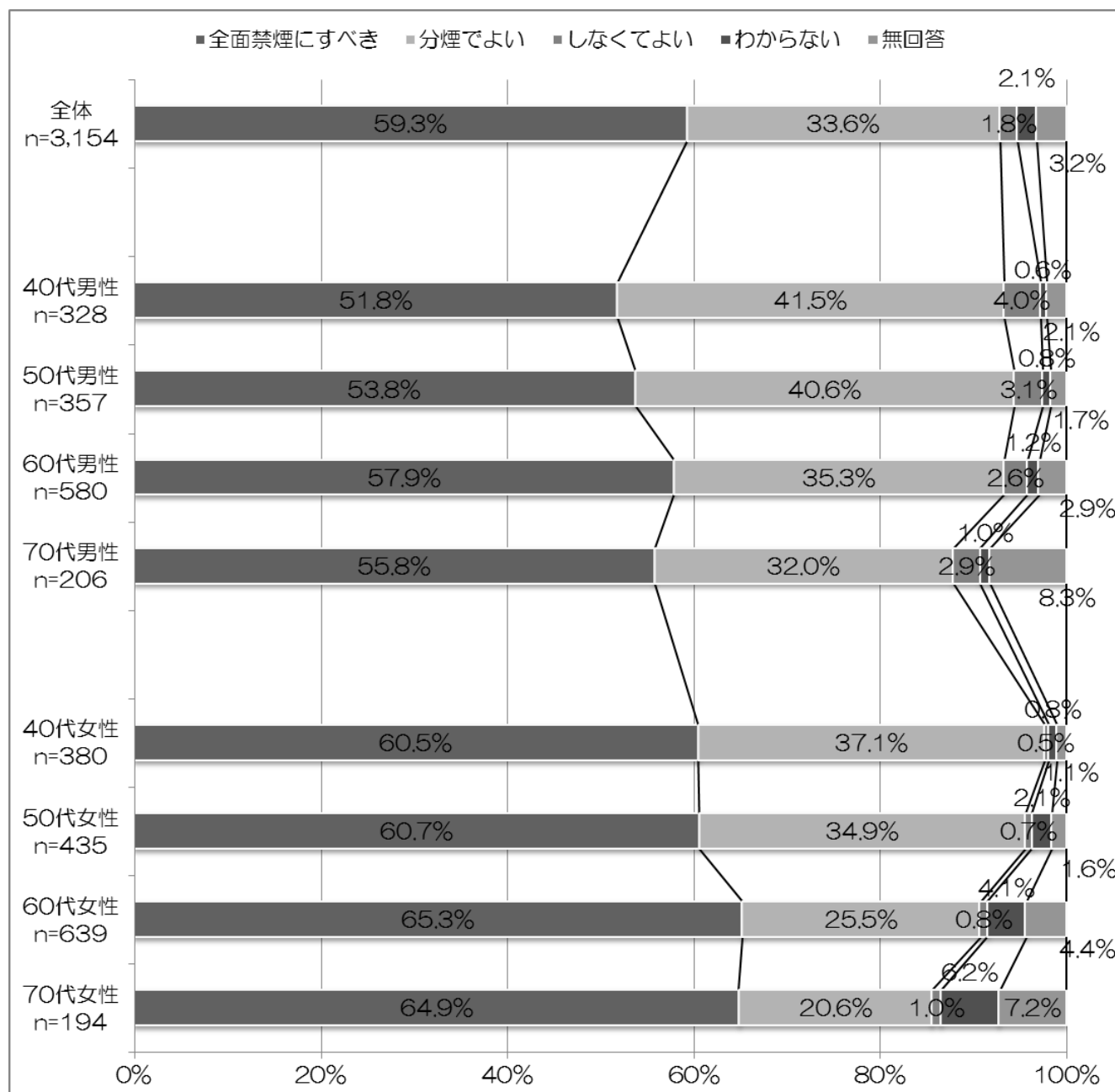


◆40歳の傾向

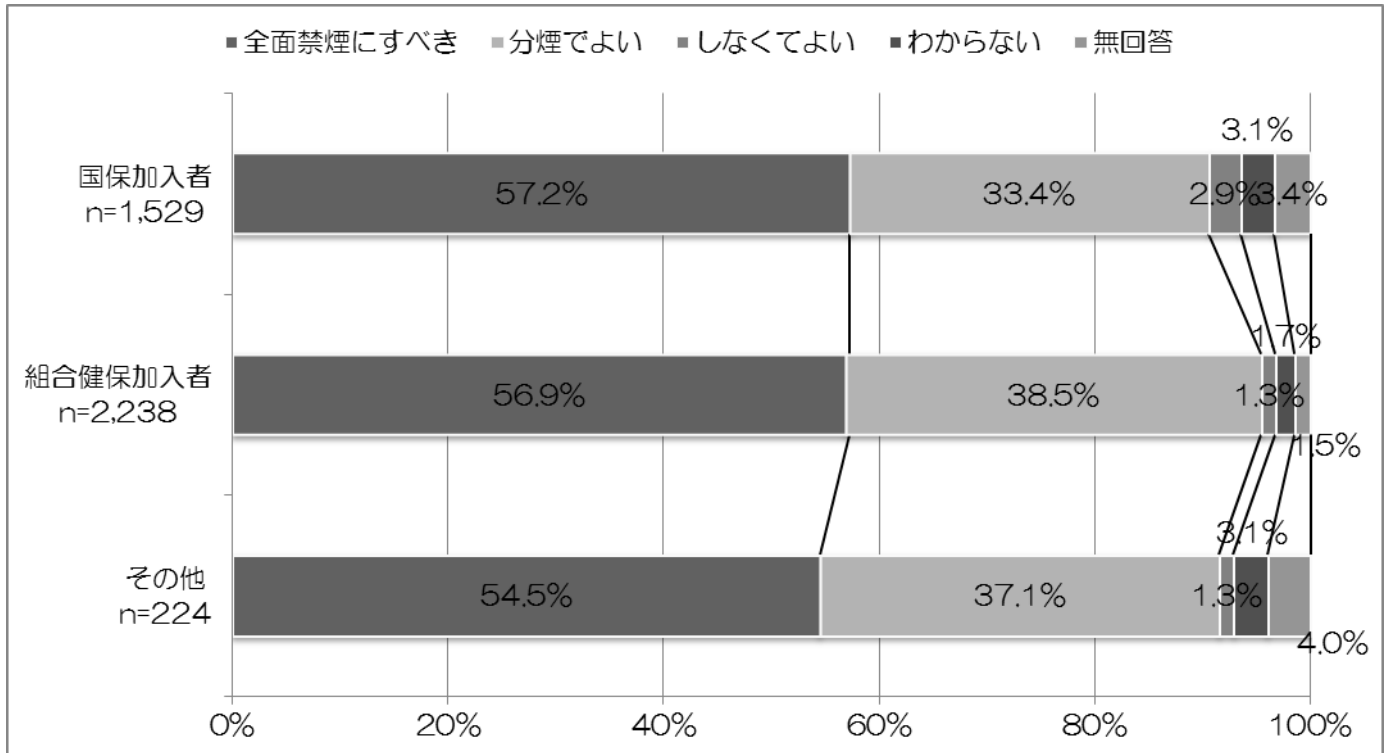


問9-2. 公共的な施設(学校、体育館、病院、劇場、映画館、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店等)は禁煙にすべきだと思いますか？

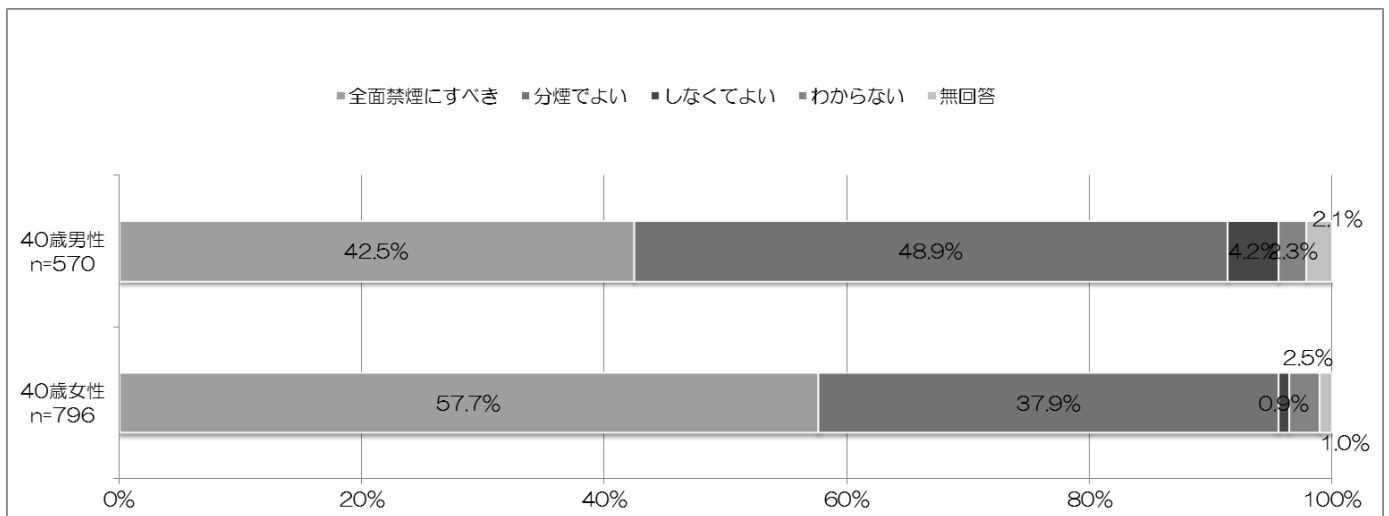
屋内の公共的な施設での禁煙に関する意識に関しては、全体では「全面禁煙にすべき」と答えた回答者の割合が最も高く、59.3%であった。年代別・性別にみると、全ての場合において「全面禁煙にすべき」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「全面禁煙にすべき」と答えた回答者の割合が最も高かった。

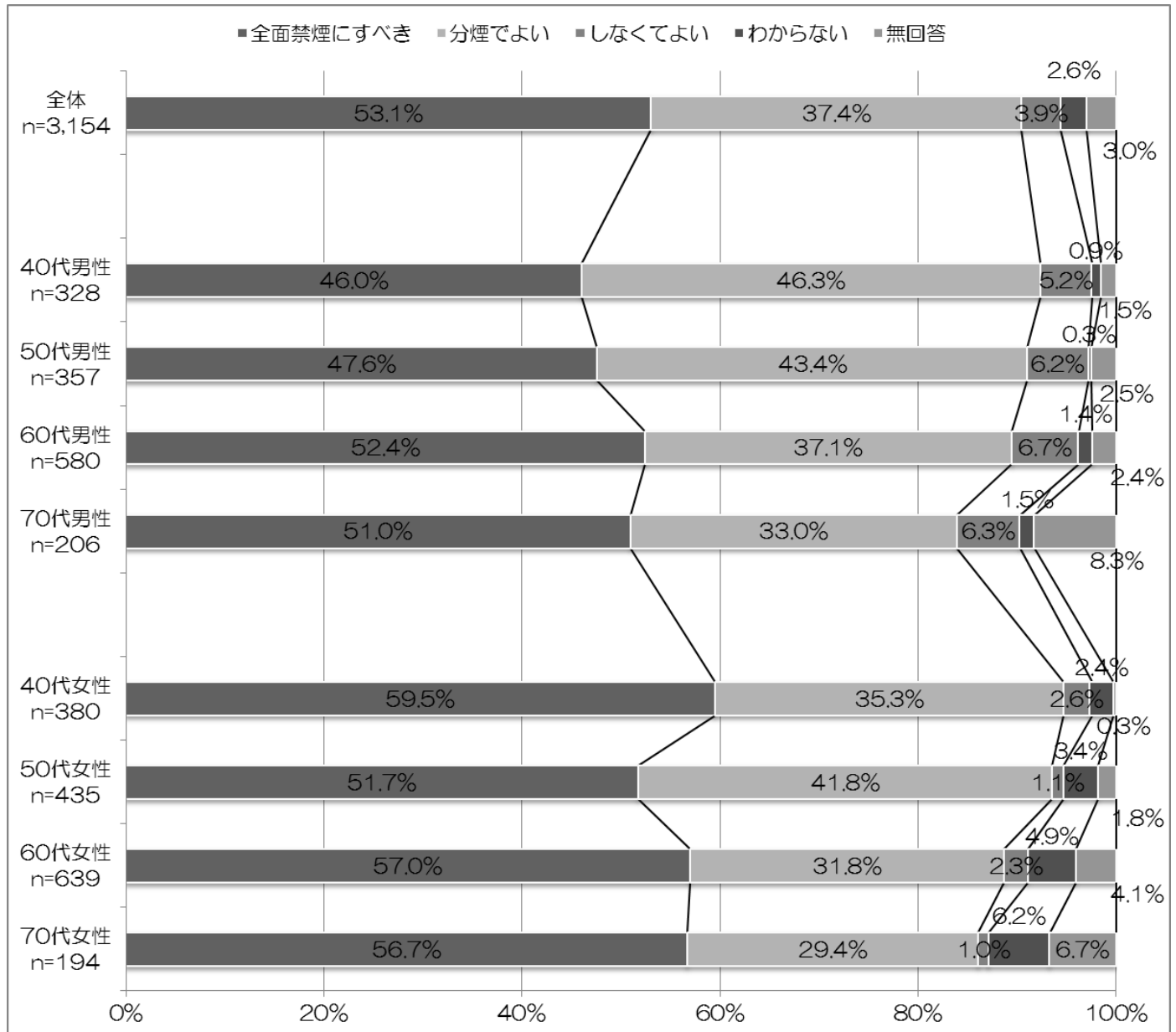


◆40歳の傾向

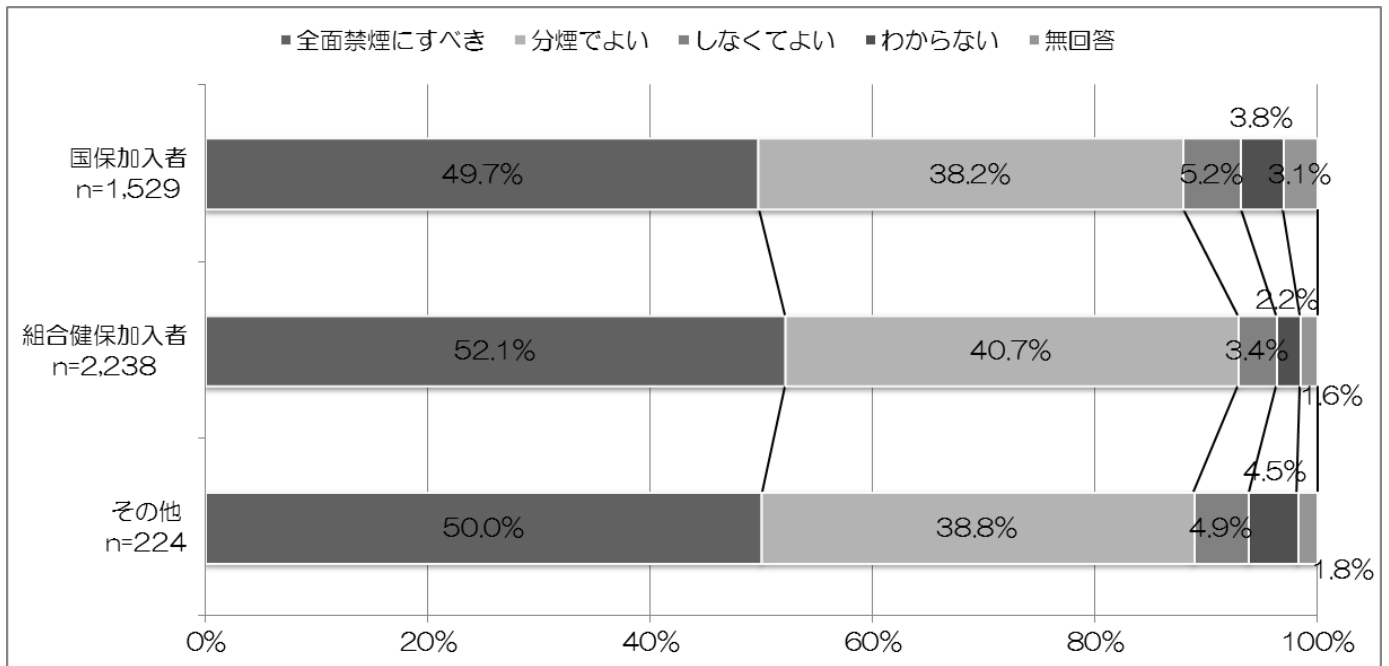


問9-3. 屋外であっても公共的な場所(道路、公園等)は禁煙にすべきだと思いますか？

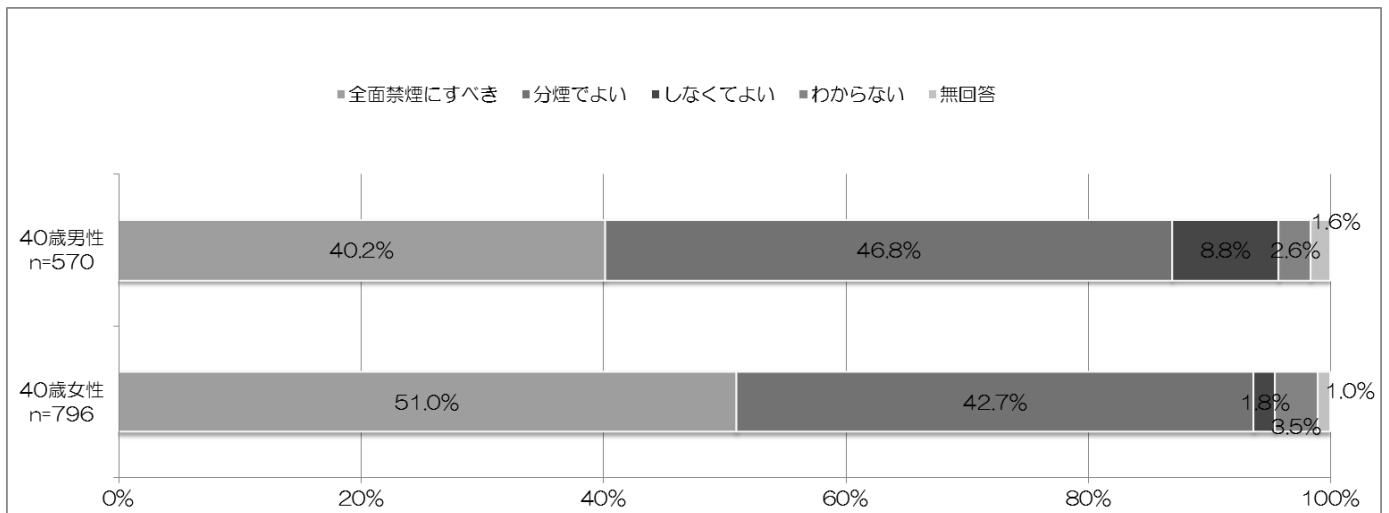
屋外の公共的な施設での禁煙に関する意識に関しては、全体では「全面禁煙にすべき」と答えた回答者の割合が最も高く、53.1%であった。年代別・性別にみると、男性では、40代において「分煙でよい」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、その他全ての場合において「全面禁煙にすべき」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「全面禁煙にすべき」と答えた回答者の割合が最も高かった。



◆40歳の傾向



問9-4. あなたは、たばこが以下の病気の発生や進行に影響すると思いますか。それぞれについて最も当てはまる選択肢の○を1つずつ塗りつぶしてください。

◆がん

喫煙と病気に関する意識—がんに関しては、全体では「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、74.5%であった。年代別・性別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

